

brother®

取扱説明書

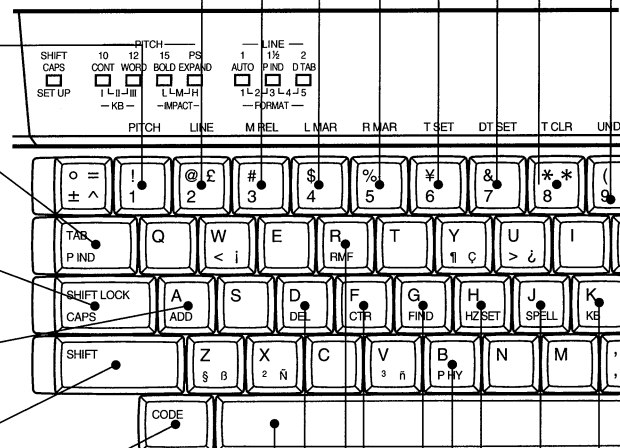
電子タイプライター

EX-530

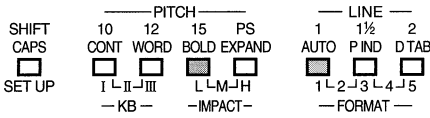
キーボード部の名称とはたらき

● EX-530のキーボード

- **ボールドキー** 太文字を印字します。 (23ページ参照)
- **オートキャリヤリターンキー** 自動改行させるときに使用します。 (16,17ページ参照)
- **オートアンダーラインキー** 文章や単語に自動的にアンダーラインを引きます。 (24ページ参照)
- **タブクリアキー** タブ、デシマルタブを解除します。 (25,27ページ参照)
- **デシマルタブセットキー** デシマルタブを設定します。 (26ページ参照)
- **タブセットキー** タブを設定します。1行内に最大30箇所まで設定できます。 (25ページ参照)
- **ライトマージンキー** 右マージンを設定します。 (15ページ参照)
- **レフトマージンキー** 左マージンを設定します。 (14ページ参照)
- **マージンリリースキー** 左右のマージンを一時的に解除します。 (14,15ページ参照)
- **ラインスペースセレクトキー** 行送り量を選択します。(1…1行、1/2…1行半、2…2行) (12ページ参照)
- **ピッチセレクトキー** 使用するデジザイルカセットのピッチに応じて選択します。(13ページ参照)
10…1インチに10文字印字します。
12…1インチに12文字印字します。
15…1インチに15文字印字します。
PS…文字ごとに設定されたピッチで印字します。
- **タブキー** キャリヤがすぐ右のタブまたはデシマルタブへ移動します。(25,26,30ページ参照)
- **パラグラフインデントキー** 仮の左マージンを設定します。(29ページ参照)
- **シフトロックキー** アルファベットの大文字またはキー上段の記号を連続して印字するときに使用します。(18ページ参照)
- **キャプスキー** 数字とアルファベットのの大文字を連続して印字するときに使用します。(18ページ参照)
- **ワードスペルアドキー** ユーザー辞書に単語を登録します。(47ページ参照)
- **シフトキー(左)** シフトロックの解除および一時的にアルファベットのの大文字またはキーの上段の記号を印字するときに使用します。(18ページ参照)
注) カナ英文コンビ仕様の場合は、アルファベットのの大文字と数字が印字できます。
- **コードキー** 緑色で表示された記号やファンクションを使うときに使用します。コードキー併用時はすべて先に押します。
- **スペースバー** 1度押すとキャリヤが1文字分右へ移動します。また押し続けると右へ連続して移動します。(36ページ参照)
- **パーマネントスペースバー** ホットゾーン内でオートキャリヤリターンしてほしくないときに使用します。(17,36ページ参照)
- **ワードスペルデリートキー** ユーザー辞書に登録されている単語を消去します。(50ページ参照)
- **ライトマージンフラッシュキー** 右マージンで右寄せ印字をします。(28ページ参照)
- **センタリングキー** マージン間、タブ間等のセンタリングをします。(30,31ページ参照)
- **ファインドキー** 現在タイプ中の行のミススペルを捜し出します。(47ページ参照)
- **パーマネントハイフンキー** ホットゾーン内でオートキャリヤリターンしてほしくないときに使用します。(17ページ参照)
- **ホットゾーンセットキー** ホットゾーンの文字数を3~12文字の範囲で設定します。(16ページ参照)
- **ワードスペルチェックキー** 単語のスペルをチェックします。(45~50ページ参照)

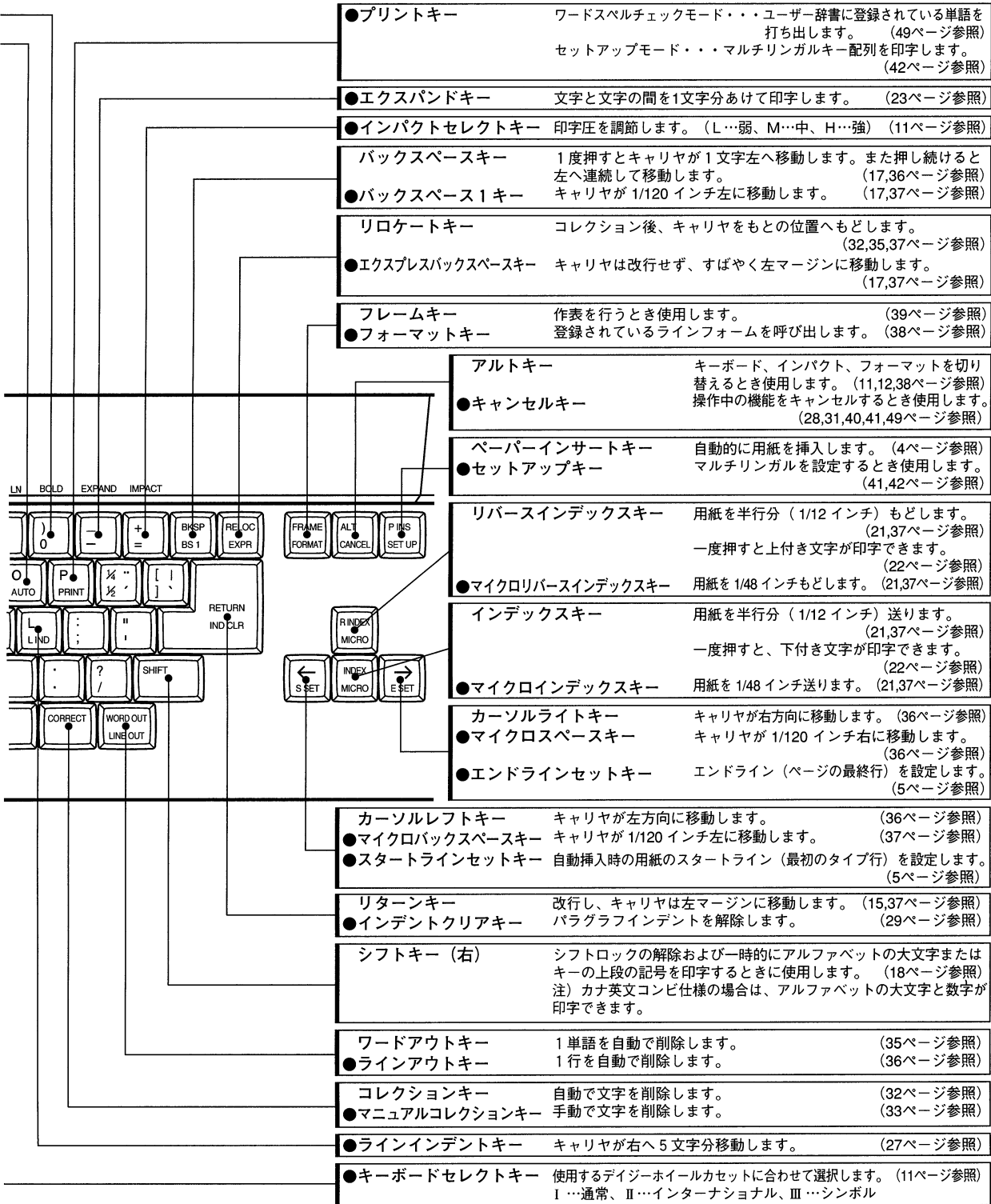


インジケーター



ピッチ・ラインスペース・ファンクション等の設定状態を表示します。
 コードキーを押すと、緑色で印刷されているファンクションの表示に切り替わります。アルトキーを押すと、一番下に印刷されているファンクションの表示に切り替わります。

何も押していない場合・・・ピッチが<15>、ラインスペースが<1>に設定されています。
 コードキーを押した場合・・・AUTOモード中でボールドが設定されています。
 アルトキーを押した場合・・・インパクトが<L>に設定され、フォーマットナンバー<1>が表示されています。



●プリントキー	ワードスペルチェックモード・・・ユーザー辞書に登録されている単語を打ち出します。(49ページ参照) セットアップモード・・・マルチリンガルキー配列を印字します。(42ページ参照)
●エクスパンドキー	文字と文字の間を1文字分あけて印字します。(23ページ参照)
●インパクトセレクトキー	印字圧を調節します。(L…弱、M…中、H…強)(11ページ参照)
バックスペースキー	1度押すとキャリヤが1文字左へ移動します。また押し続けると左へ連続して移動します。(17,36ページ参照)
●バックスペース1キー	キャリヤが1/120インチ左に移動します。(17,37ページ参照)
リロケートキー	コレクション後、キャリヤをもとの位置へもどします。(32,35,37ページ参照)
●エクスプレスバックスペースキー	キャリヤは改行せず、すばやく左マージンに移動します。(17,37ページ参照)
フレームキー	作表を行うとき使用します。(39ページ参照)
●フォーマットキー	登録されているラインフォームを呼び出します。(38ページ参照)
アルトキー	キーボード、インパクト、フォーマットを切り替えるとき使用します。(11,12,38ページ参照) 操作中の機能をキャンセルするとき使用します。(28,31,40,41,49ページ参照)
●キャンセルキー	
ペーパーインサートキー	自動的に用紙を挿入します。(4ページ参照)
●セットアップキー	マルチリンガルを設定するとき使用します。(41,42ページ参照)
リバースインデックスキー	用紙を半分(1/12インチ)もどします。(21,37ページ参照) 一度押すと上付き文字が印字できます。(22ページ参照)
●マイクロリバースインデックスキー	用紙を1/48インチもどします。(21,37ページ参照)
インデックスキー	用紙を半分(1/12インチ)送ります。(21,37ページ参照) 一度押すと、下付き文字が印字できます。(22ページ参照)
●マイクロインデックスキー	用紙を1/48インチ送ります。(21,37ページ参照)
カーソルライトキー	キャリヤが右方向に移動します。(36ページ参照)
●マイクロスペースキー	キャリヤが1/120インチ右に移動します。(36ページ参照)
●エンドラインセットキー	エンドライン(ページの最終行)を設定します。(5ページ参照)
カーソルレフトキー	キャリヤが左方向に移動します。(36ページ参照)
●マイクロバックスペースキー	キャリヤが1/120インチ左に移動します。(37ページ参照)
●スタートラインセットキー	自動挿入時の用紙のスタートライン(最初のタイプ行)を設定します。(5ページ参照)
リターンキー	改行し、キャリヤは左マージンに移動します。(15,37ページ参照)
●インデントクリアキー	パラグラフインデントを解除します。(29ページ参照)
シフトキー(右)	シフトロックの解除および一時的にアルファベットの太文字またはキーの上段の記号を印字するとき使用します。(18ページ参照) 注)カナ英文コンビ仕様の場合は、アルファベットの太文字と数字が印字できます。
ワードアウトキー	1単語を自動で削除します。(35ページ参照)
●ラインアウトキー	1行を自動で削除します。(36ページ参照)
コレクションキー	自動で文字を削除します。(32ページ参照)
●マニュアルコレクションキー	手で文字を削除します。(33ページ参照)
●ラインインデントキー	キャリヤが右へ5文字分移動します。(27ページ参照)
●キーボードセレクトキー	使用するデジールカセットに合わせて選択します。(11ページ参照) I…通常、II…インターナショナル、III…シンボル

注) 1. ●印はコードキーを押したまま使用します。
 2. このキーボードは英文仕様のものです。

EX-530 今日からあなたのセクレタリー

お買い上げまことにありがとうございます。この製品のすばらしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この〈取扱説明書〉を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保管してください。

EX-530で、美しく楽しくタイピング

<取扱説明書の使い方>

本書は、電子タイプライターを初めてお使いになる方には、わかりやすく、またすでに経験されている方には、効率的に、EX-530の機能を理解していただけるように編集しました。なお、このEX-530のすべての機能をひとつひとつ理解していただいたあと、本書は参考マニュアルとしてお使いください。各章各節は独立して構成されていますから、どこから読みはじめても不都合はありません。

もくじ

キーボード部の名称とはたらき

第1章 タイプを始める前に

1. 機器構成 (名称とはたらき)	1
2. 電源コード・電源スイッチ	2
3. バックアップ機能	2
4. マージンスケール	3
5. トップカバー	3
6. 用紙の挿入	4
A 自動挿入<P INS> (用紙を自動で挿入します)	4
B 手動挿入 (用紙を手動で挿入します)	4
7. スタートラインセットキー<S SET> (最初のタイプ行の設定をします)	5
8. エンドラインセットキー<E SET> (ページの最終行の設定をします)	5
9. ページエンド (エンドラインを自動的に知らせます)	6
● エンドラインを越えてタイプしたい場合	6
● エンドラインの解除	6
10. コピーコントロールレバー (印字圧を調節します)	6
11. デイジーホイールカセット	7
A 取りはずし方	7
B 取り付け方	7
12. カセットリボン	8
A 取りはずし方	8
B 取り付け方	8
13. コレクションテープ	9
A 取りはずし方	9
B 取り付け方	9
14. リセットの方法 (バックアップメモリーを消去します)	10

第2章 基本機能

1. インパクトセレクトキー<IMPACT> (印字圧を調節します)	11
2. キーボードセレクトキー<KEYBOARD> (キーボードを切り替えます)	11
● インターナショナルキーボード	12
● シンボルキーボード	12
3. ラインスペースセレクトキー<LINE> (行間を変えます)	12
4. ピッチセレクトキー<PITCH> (文字間を変えます)	13
5. マージン (用紙に印字する左右幅です)	14
A 左マージンの設定<L MAR> (印字する左端を設定します)	14
● 現在の左マージンより右に設定する場合	14
● 現在の左マージンより左に設定する場合	14
B 右マージンの設定<R MAR> (印字する右端を設定します)	15
● 現在の右マージンより左に設定する場合	15
● 現在の右マージンより右に設定する場合	15
C マージンの解除	15
6. キャリヤリターン<RETURN> (改行します)	15
7. ホットゾーン (右マージンから手前6文字分の範囲です)	16
● ホットゾーンの変更<HZ SET> (ホットゾーンの文字数を3~12文字の範囲で設定します)	16
8. オートキャリヤリターンキー<AUTO> (自動的に改行します)	16
A オートキャリヤリターンモードの設定	16
B オートキャリヤリターンモードの解除	17
● パーマネントスペースバー (ホットゾーン内でスペースを入れます)	17
● パーマネントハイフンキー (ホットゾーン内でハイフンを入れます)	17

電子タイプライターを初めてお使いになる方は

どうか、各章を最初から最後まで熟読してください。読み進むにつれてEX-530があなたのフレンドリーな道具になってゆくはずです。

電子タイプライターの経験がある方は

特に前半部分は読み飛ばして差し支えありません。もし知らない事柄があれば、そのページだけに目を通していただければよいと思います。

9.	バックスペース	17
A	バックスペースキー<BKSP> (1文字分左に移動します)	17
B	バックスペース1キー<BS1> (1/120インチ左に移動します)	17
C	エクस्प्रेसバックスペースキー<EXPR> (左マージンにすばやく移動します)	17
10.	シフト・シフトロックキー	18
A	シフトキー<SHIFT> (アルファベットの大文字やキー上段の記号をタイプする場合に使用します)	18
B	シフトロックキー<SHIFT LOCK> (アルファベットの大文字を続けてタイプする場合に使用します)	18
11.	キャプスキー<CAPS> (数字とアルファベットの大文字を連続してタイプする場合に使用します)	18
12.	エクストラ文字キー (キーボード上の緑色の文字をタイプします)	19
13.	デッドキー (àなど特殊な文字をタイプします)	19
14.	重ね文字 (IIなど文字を重ねてタイプします)	20
15.	インデックスキー<INDEX>・リバースインデックスキー<R INDEX> (用紙を1/12インチ送ったりもどしたりします)	21
16.	マイクロインデックスキー<MICRO>・マイクロリバースインデックスキー<MICRO> (用紙を1/48インチ送ったりもどしたりします)	21
17.	スーパースク립ト (上つき文字) <R INDEX> (上付き文字をタイプします)	22
18.	サブスク립ト (下つき文字) <INDEX> (下付き文字をタイプします)	22

第3章 応用機能

1.	ボールドキー<BOLD> (太文字をタイプします)	23
A	ボールドの設定	23
B	ボールドの解除	23
2.	エクスパンドキー<EXPAND> (文字と文字の間を1文字分あけてタイプします)	23
A	エクスパンドの設定	23
B	エクスパンドの解除	23
3.	オートアンダーラインキー<UNDLN> (文章や単語に自動的に下線を引きます)	24
A	オートアンダーラインの設定	24
●	文章全体 (CONT) にアンダーラインを引く場合	24
●	単語 (WORD) にアンダーラインを引く場合	24
B	オートアンダーラインの解除	24
4.	タブ (文章を頭ぞろえでタイプします)	25
A	タブの設定<T SET>	25
B	タブの実施<TAB>	25
C	タブの解除<T CLR>	25
●	タブのオールクリア	25
●	タブの自動設定	25
5.	デシマルタブ (数字を小数点ぞろえでタイプします)	26
A	デシマルタブの設定<DT SET>	26
B	デシマルタブの実施<TAB>	26
C	デシマルタブの解除<T CLR>	27
6.	ラインインデントキー<L IND> (キャリヤが右へ5文字分移動します)	27
7.	ライトマージンフラッシュキー<RMF> (自動的に右寄せ印字します)	28
A	ライトマージンフラッシュの設定	28
B	ライトマージンフラッシュの解除	28
8.	パラグラフインデントキー<P IND> (一時的な仮の左マージンを設定します)	29
A	パラグラフインデントの設定	29
B	パラグラフインデントの解除<IND CLR>	29
9.	センタリング<CTR> (自動的にマージン間やタブ間等の中央にタイプします)	30
A	マージン間のセンタリングの設定	30
B	タブ間のセンタリングの設定	30
C	任意の位置でのセンタリングの設定	31
D	センタリングの解除	31

10.	コレクション<CORRECT> (印字された文字を削除します)	32
A	オートコレクション (印字された文字を自動で削除します)	32
B	マニュアルコレクション (印字された文字を手動で削除します)	33
●	ペーパーメーターの使い方 (手動で修正するときの目安に使用します)	34
11.	ワードアウトキー<WORD OUT> (1単語を自動的に削除します)	35
12.	ラインアウトキー<LINE OUT> (1行を自動的に削除します)	36
13.	キャリア移動キー	36
14.	ラインフォーム<FORMAT> (よく使用するラインフォームを登録することができます)	38
A	ラインフォームの登録	38
B	ラインフォームの呼び出し	38
C	ラインフォームのクリア	38
15.	フレーミング<FRAME> (縦線、横線を引いて作表することができます)	39
A	フレーミングの枠指定	39
B	フレーミングの枠指定の解除	40
C	フレーミングの中止	40
●	枠指定中のフレーミングの中止	40
●	枠タイプ中のフレーミングの中止	40
16.	マルチリンガル (21種類の言語に対応できます)	41
A	マルチリンガルキーボードの設定	41
●	セットアップモードの中止	41
B	マルチリンガルキーボードの解除	41
C	マルチリンガルキー配列の印字	42
D	キーボードコード表	42
E	マルチリンガルキー配列	42

第4章 ワードスペルチェック機能

1.	ワードスペルチェック<SPELL> (単語のスペルをチェックします)	45
A	ワードスペルチェックの設定	45
B	ワードスペルチェックの実施	45
C	ワードスペルチェックの解除	45
D	スペルの再チェック	46
E	ワードスペルチェックの規則	46
●	単語の区切りとなるキー・ファンクションキー	46
●	特別なワードスペルチェック	46
2.	ファインド<FIND> (ミススペルの単語を捜し出すことができます)	47
3.	ユーザー辞書 (内蔵辞書に登録されていない単語を登録することができます)	47
A	ユーザー辞書への登録	47
●	スペルの再チェックを利用した登録	48
●	登録のチェック規則	48
●	ユーザー辞書の学習機能	48
B	ユーザー辞書の打ち出し	49
●	打ち出しのフォーマット	49
●	打ち出しの中止	49
C	ユーザー辞書の消去	50
D	ユーザー辞書の一斉消去	50
●	スペリングプログラムについて	50

<付録>

こんなときは・・・?	51
タイプライターの手入れとご注意	52
仕様	53
消耗品	53
索引	54
レイアウト例	56

第1章 タイプを始める前に

1. 機器構成 (名称とはたらき)

ペーパーガイド

用紙の大きさに応じて用紙左端の位置を決めます。

ペーパーエッジガイドマーク

用紙セットの目安にします。

ペーパーエンドインジケータ

ペーパーサポーターより起こしてセットし、タイプ中の用紙の残り行数を表示します。

キャリア

カセットリボン・デイジーホイールカセット・コレクションテープおよびハンマーユニットから構成され左右に移動する印字装置です。

プラテン

ペーパーベイル

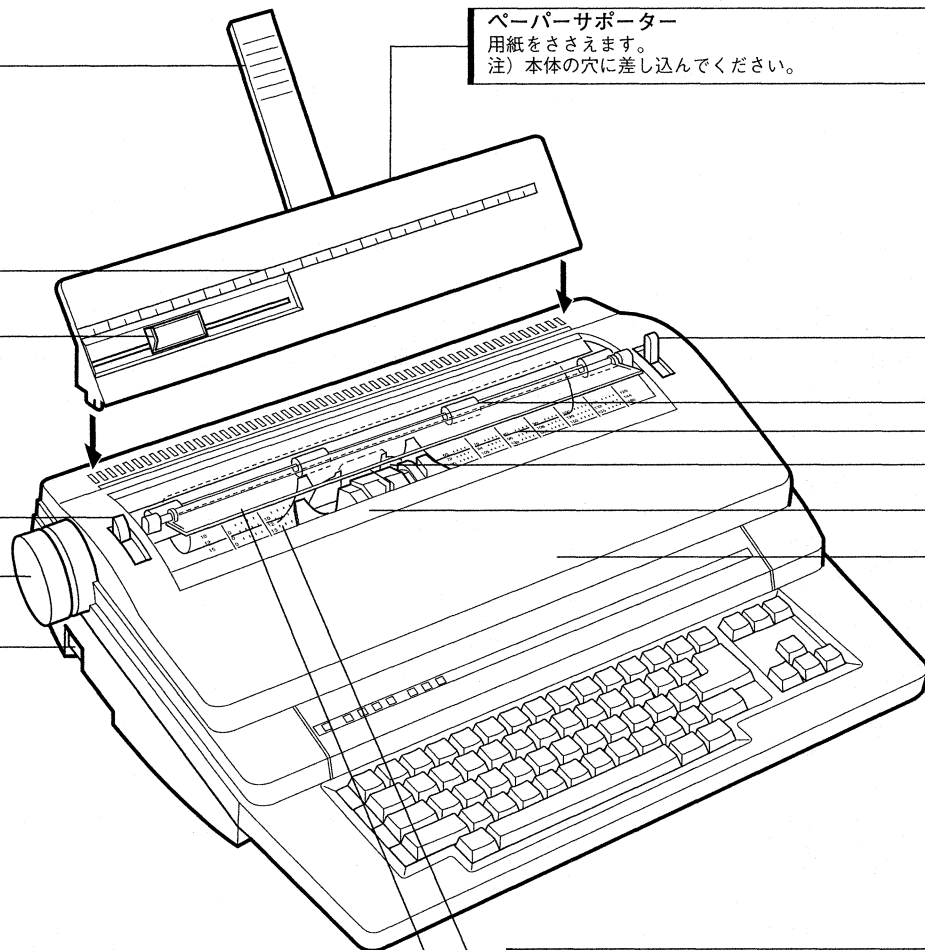
用紙をプラテンに密着させます。

ペーパーリリースレバー

レバーを手前に引くと、用紙が自由に動きますので、まっすぐに調節することができます。

ペーパーサポーター

用紙をささえます。
注) 本体の穴に差し込んでください。



マージンスケール

10・12・15の3種類のピッチスケールがあり、左右のマージン位置やタイプ位置を示します。

反射防止板

タイピングラインを見やすくするために、角度が自由に変わります。

トップカバー

デイジーホイールカセット・カセットリボン・コレクションテープなどを交換するとき、トップカバーを開けて行います。

防音カバー

タイプ音をより一段と静かにし、異物の混入も防ぎます。通常はこのカバーを閉めたまま使用します。

電源スイッチ

電源を<ON>・<OFF>にします。

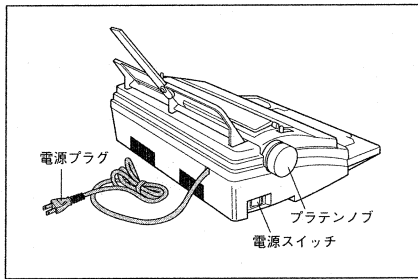
プラテンノブ

用紙を手動で送るときに使用します。

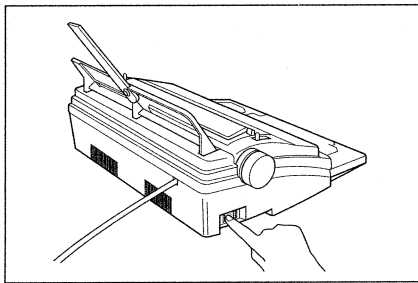
ペーパーベイルレバー

レバーを手前に引くと、ペーパーベイルがプラテンから離れ、用紙の挿入または調節が簡単になります。

2. 電源コード・電源スイッチ



1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



2. 左側プラテンノブの下にある、電源スイッチを<ON>にします。キャリヤが左端に自動的に移動します。デージーホイールカセットが回転して停止し、キャリヤがあらかじめ設定されている左マージンに移動します。

注) 作動しないときは<こんなときは・・・?> (51ページ) を参照してください。

3. バックアップ機能

注) お買い求め頂きましてから約5年間たちますと、リチウム電池が消耗し、バックアップされている内容がすべて消去されます。

電源スイッチを<OFF>にしても、ラインフォームとユーザー辞書は、約5年間記憶されています。

尚、本体の中に内蔵されておりますリチウム電池が消耗すると初期設定（お買い上げ時の状態）にもどります。タイプライターをお買い求め頂きました販売店にてリチウム電池の交換を行ってください。

<初期設定>	ピッチ	10	マルチリンガルキーボード	Japanese English (005)
	ラインスペース	1	ホットゾーン	6
	左マージン	10	スタートライン	用紙上端より1インチ
	右マージン	75	エンドライン	設定なし
	タブ	左右マージン間に10文字ごと	ラインフォーマット	登録なし
	デシマルタブ	設定なし	フレーミング	登録なし
	インパクト	M	ワードスペルチェック	OFF
	キーボード	I	ユーザー辞書	登録なし
	AUTOモード	OFF		

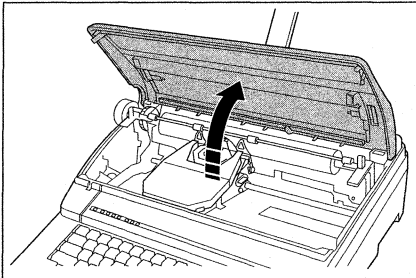
4. マージンスケール

10, 12, 15の3種類のピッチスケールがあり、タイプの目安に使うと便利です。

10	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120
12	0	12	24	36	48	60	72	84	96	108	120	132	144
15	0	15	30	45	60	75	90	105	120	135	150	165	180

ピッチセレクトキー "10" のスケールです。<ピッチセレクトキー> (13ページ) 参照

5. トップカバー



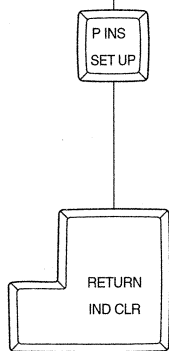
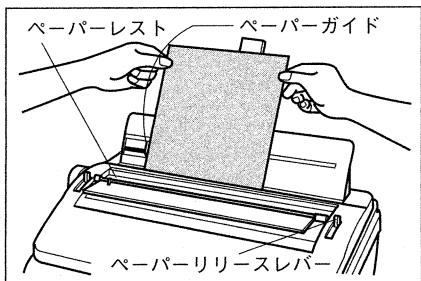
デジールホイールカセット、カセットリボンやコレクションテープの交換のときに、トップカバーを開けて行います。
電源スイッチが<ON>のときに、トップカバーを開けるとピッチインジケータ4個が点滅し、キーボードはロックしタイプできません。
トップカバーを閉じると、キャリアは左端に移動したあと、もとの位置にもどります。

- 注) 1. トップカバーを開けても、マージン・タブおよびオートコレクションなどは保護されています。
2. キャリアは手では動かさないでください。動いた場合は、トップカバーを開閉してください。キャリアはもとの位置にもどります。
3. トップカバーを閉めたときは、確実に閉められていることを確認してください。
4. カセットリボンの交換などトップカバーを開けると、キーボードはロックします。これによって電源スイッチが<ON>の状態でも、デジールホイールカセット・カセットリボンまたはコレクションテープの交換は安全にできます。

6. 用紙の挿入

用紙は自動挿入、手動挿入することができます。

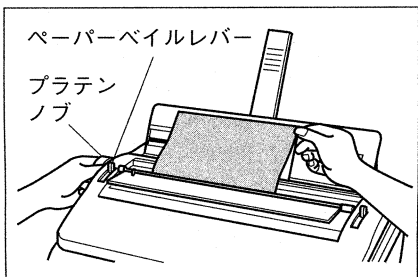
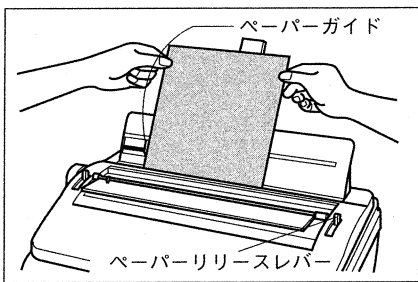
A 自動挿入<P INS>



1. 本体の電源スイッチを<ON>にして、ペーパーリリースレバーがうしろ側にあるか確かめてください。
 2. 用紙の裏面を手前側にしてペーパーレストのうしろ側から、プラテンの抵抗が感じられる位置まで差し込みます。用紙の左端をペーパーガイドに添えます。
 3. ペーパーインサートキーを押すとペーパーベイルが上がり、キャリヤは中央に移動し、スタートライン（最初のタイプ行）まで用紙が自動的に送り込まれます。（そのままでもタイプできます）
- 注) 1. スタートライン（最初のタイプ行）は1インチに設定されています。
2. スタートラインを変更することができます。<スタートラインセットキー>（5ページ）参照
4. リターンキーを押し、キャリヤを左マージンに移動させます。

- 注) 1. 用紙の位置調節を行うときは、インデックスキー・リバースインデックスキーにより、半行幅（1/12インチ）で用紙を上げたり、下げたりすることができます。さらに微調整を行うときは、コードキーを押したままインデックスキー・リバースインデックスキーを押すと1/48インチ（約0.5mm）単位で上下できます。<インデックスキー・リバースインデックスキー>（21ページ）<マイクロインデックスキー・マイクロリバースインデックスキー>（21ページ）参照
2. 用紙が曲がっていたり、正しくセットされていないときは、ペーパーリリースレバーを手前に引き、用紙を直してください。次に、ペーパーリリースレバーをもとにもどしてください。

B 手動挿入

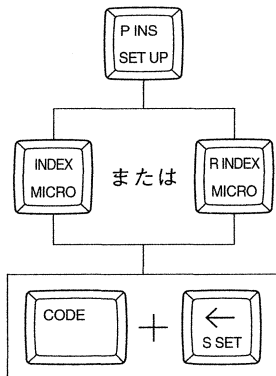


1. ペーパーリリースレバーがうしろ側にあることを確かめます。
2. 用紙の裏面を手前側にして用紙の左側をペーパーガイドに合わせながら、両手で用紙をまっすぐに挿入します。
3. ペーパーベイルレバーを手前に引いたままプラテンノブを回して、用紙を送ります。用紙の先端がペーパーベイルの下へきたら、ペーパーベイルレバーをもとの位置にもどします。

注) 用紙が曲がっていたり、正しくセットされていないときは、<自動挿入 注) 2.>を参照してください。

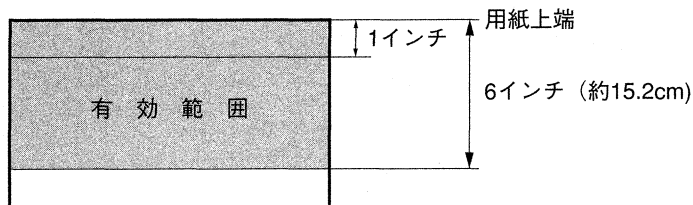
7. スタートラインセットキー <S SET>

スタートライン（最初のタイプ行）の設定ができます。



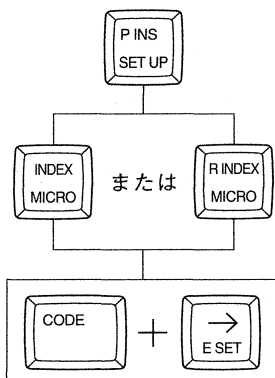
1. ペーパーインサートキーを押して用紙を自動挿入します。<自動挿入>（4ページ）参照
2. インデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して、タイプし始めたい位置に用紙を送ります。<自動挿入 注> 1.>（4ページ）参照
注）マイクロインデックスキー・マイクロリバースインデックスキーも使用できます。
3. コードキーを押したままスタートラインセットキーを押すと、新しいスタートラインが設定されます。

- 注） 1. 初期設定は、1インチ（約2.5cm）に設定されています。
2. スタートラインは次の範囲内で設定します。



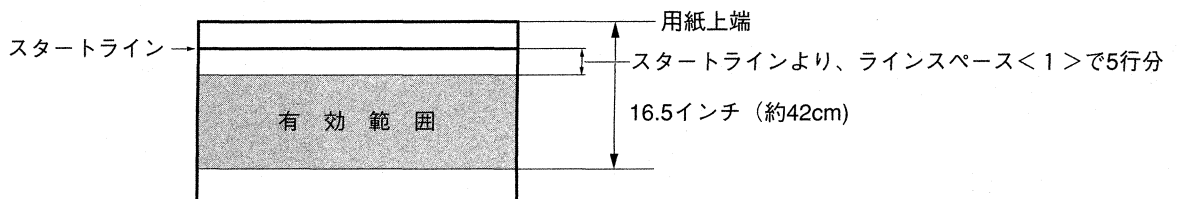
8. エンドラインセットキー <E SET>

エンドライン（ページの最終行）の設定ができます。



1. ペーパーインサートキーを押して用紙を自動挿入します。<自動挿入>（4ページ）参照
2. インデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して、用紙の印字最終行を設定したい位置まで用紙を送ります。
注）マイクロインデックスキー・マイクロリバースインデックスキーも使用できます。
3. コードキーを押したままエンドラインセットキーを押すと、エンドラインが設定されます。

- 注） 1. 初期設定ではエンドラインは設定されていません。
2. エンドラインは次の範囲内で設定します。

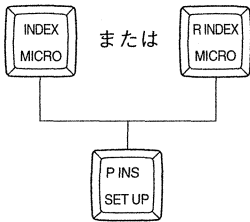


3. スタートラインを変更してもエンドラインの設定は変わりません。

9. ページエンド

エンドラインを越えたときにページエンド状態になり用紙交換を知らせます。

改行動作などにより、エンドラインを越えた場合、ラインスペースセレクトインジケータ3個が点滅し、ページエンドを知らせます。

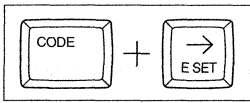
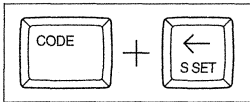


1. インデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して用紙を取り出します。
2. ペーパーインサートキーを押して新しい用紙を自動挿入します。

● エンドラインを越えてタイプしたい場合

コレクションキーを押すと、一時的にエンドラインが解除され、続けてタイプすることができます。また、その行が改行動作などによって改行したときは再びラインスペースセレクトインジケータ3個が点滅します。

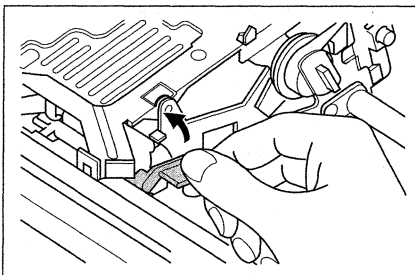
コードキーを押したままスタートラインセットキーを押すと、一時的にエンドラインが解除され、もう1ページ分続けてタイプすることができます。



● エンドラインの解除

ラインスペースセレクトインジケータ3個が点滅しているときに、コードキーを押したままエンドラインセットキーを押します。

10. コピーコントロールレバー



キャリヤの右側にコピーコントロールレバーがあり、2段階に調節することができます。通常用の紙1枚のときは、レバーを下の位置にします。厚い用紙または封筒などを挿入するときは、レバーを上げます。

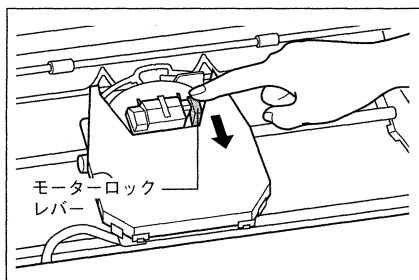
注) インパクトセレクトキーを併用するとより美しい印字ができます。〈インパクトセレクトキー〉(11ページ) 参照

11. デイジーホイールカセット

EX-530にはブルーアム10のデイジーホイールカセットがすでに入っています。異なるタイプフェースのデイジーホイールカセットを交換するときでも、その操作はとても簡単です。

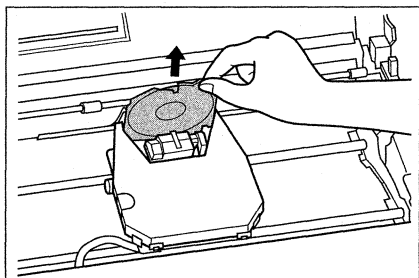
A 取りはずし方

1. トップカバーを開け、モーターロックレバーを手前に引きます。



2. デイジーホイールカセットの右側のつまみを引き上げます。

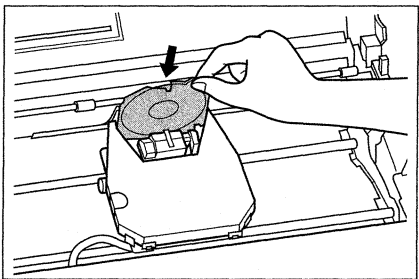
注) デイジーホイールカセットを取りはずすときは、カセットリボンを取りはずす必要はありません。



B 取り付け方

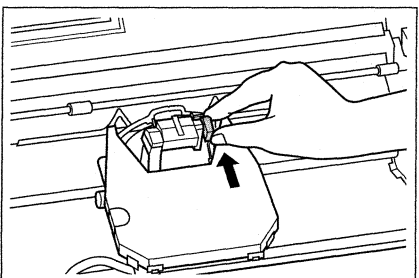
1. デイジーホイールカセットの右側のつまみを持ってカセットガイドに入れ、確実に押し込みます。

注) デイジーホイールカセットのつまみは必ず右側にくるようにセットしてください。



2. モーターロックレバーを、カチッと音がするまでプラテン側へ押します。
3. トップカバーを閉めます。キャリアは左端まで移動し、もとの位置にもどります。

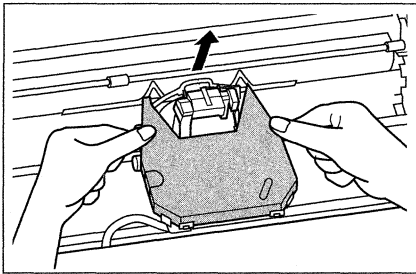
注) デイジーホイールカセットが正しくセットされていれば、デイジーホイールが回転します。



注) デイジーホイールカセットのロックが不十分ですと、正しく印字されませんので確実にセットしてください。

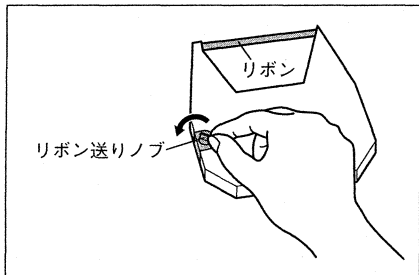
12. カセットリボン

A 取りはずし方

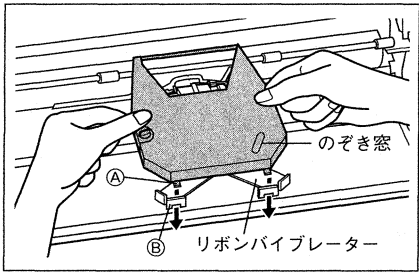


1. スペースバーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを中央に移動させます。
2. トップカバーを開け、カセットを両手で持ちリボン側を先に持ち上げて取りはずします。

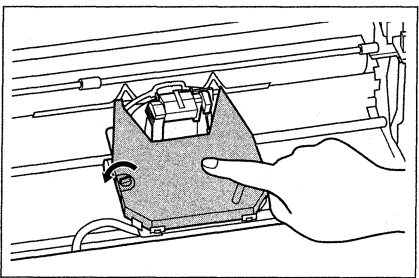
B 取り付け方



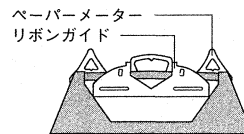
1. 新しいカセットリボンからストッパー（黄色）を取りはずし、カセット上のリボン送りノブを左方向に回し、リボンのたるみを取ります。



2. カセットリボン下端の両側の凸部(A)を、リボンバイブレーターの穴部(B)に入れてカセットリボンがリボンバイブレーターからはずれないようにします。



3. リボンをペーパーメーターとリボンガイドの間に通し、上からかちと音がするまで押さえます。リボン送りノブを左方向に回して、たるみを取ります。



4. トップカバーを閉めます。キャリヤは左端まで移動し、もとの位置にもどります。

注) 1. カセットリボンの上ののぞき窓があり、リボンの残量がわかります。

2. カセットリボンには次の4種類があります。

- ・ コレクタブルカーボンリボン（購入時に装着されています。黒の他に赤・青・緑・茶の4色があります）
リフトオフコレクションテープにより、きれいなコレクションができます。
- ・ マルチユースカーボンリボン
コレクタブルカーボンリボンの約2.5倍の文字数がタイプできます。
- ・ ワンタイムカーボンリボン
最も美しい印字ができ、カーボン用紙への密着性にも優れています。
- ・ ナイロンリボン
コレクタブルカーボンリボンの約8倍の文字数がタイプできます。

※ リフトオフコレクションテープは、コレクタブルカーボンリボン使用時以外は使用できません。

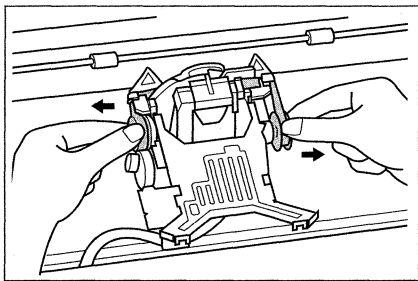
※ 長期間にわたりナイロンリボンをご使用になるときは、リフトオフコレクションテープを取りはずしてお使いください。

3. カセットリボンは当社の製品をお使いください。

13. コレクションテープ

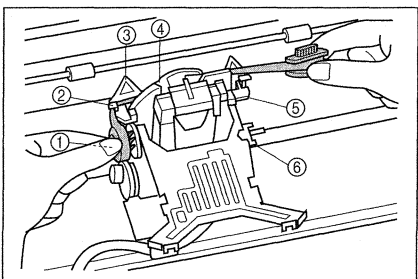
コレクションテープによりまちがえた文字をきれいに訂正することができます。従来のように修正用紙のかげらや、乾いた修正液のかたまりが本体に付着することがありません。

A 取りはずし方

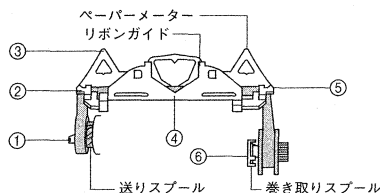


1. スペースバーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを中央に移動させます。
2. トップカバーを開け、カセットリボンを取りはずします。<カセットリボン> (8ページ) 参照
3. コレクションテープの左右のスプールをキャリヤから引き抜きます。

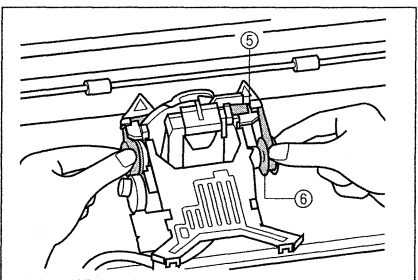
B 取り付け方



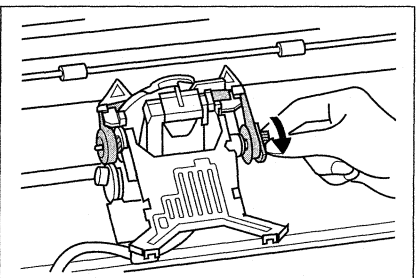
1. 送りスプールを左の軸①に取り付け、テープの粘着面をプラテンに向けて、テープを左のコレクションテープガイド②、ペーパーメーター③とリボンガイド④の間、右のコレクションテープガイド⑤の順に通します。



2. 巻き取りスプールを右の軸⑥に取り付けます。



3. スプールを手前に回して、白いテープが右のスプールにくるまで巻き取ります。



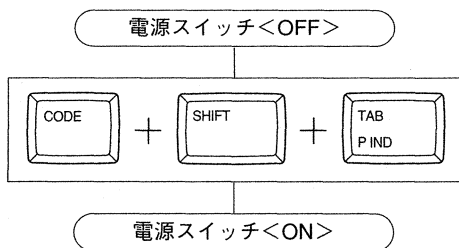
4. カセットリボンを取り付け、トップカバーを閉めます。キャリヤは左端まで移動し、もとの位置にもどります。

注) コレクションテープは次の2種類があります。

- ・ リフトオフコレクションテープ (購入時に装着されています。コレクタブルカーボンリボンと、ともにお使いください。)
- ・ カバーラップコレクションテープ (マルチユースカーボンリボン・ワンタイムカーボンリボンまたはナイロンリボンと、ともにお使いください。)

14. リセットの方法

ラインフォーム・ユーザー辞書など、バックアップメモリーをすべて消去することができます。

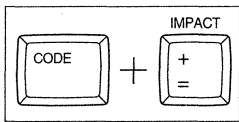


電源スイッチを<OFF>の状態コードキーとシフトキーとタブキーを押したまま、電源スイッチを<ON>にします。デジタイザカセットが回転し、キャリヤが左端まで移動したあと、初期設定の左マージンまで移動します。これでバックアップメモリーがすべて消去され、タイプライターは初期設定（お買い上げ時の状態）にもどります。<バックアップ機能>（2ページ）参照

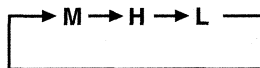
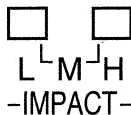
第2章 基本機能

1. インパクトセレクトキー <IMPACT>

使用する用紙の質・厚さ、またはカーボンコピー数によって、印字圧が調整できます。



コードキーを押したままインパクトセレクトキーを押して、インパクトを切り替えます。インパクトセレクトインジケータは次の順で切り替わります。



<L>.....弱い印字圧

<M>.....中ぐらいの印字圧

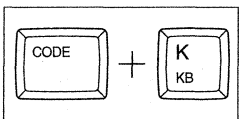
<H>.....強い印字圧

を意味します。例えば、薄い用紙には<L>、カーボンコピーを作成するときには<H>に設定します。

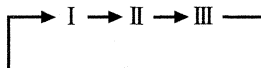
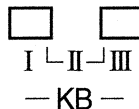
- 注) 1. 初期設定は<M>に設定されています。
2. オリジナルの文書に加えて、約4枚のカーボンコピーを印字することができます。
3. コピーコントロールレバーを併用すると、より美しく印字ができます。<コピーコントロールレバー> (6ページ) 参照
4. アルトキーを押したままインパクトセレクトキーを押して、インパクトを切り替えることもできます。
5. アルトキーを押すと、現在のインパクトの状態を確認することができます。

2. キーボードセレクトキー <KEYBOARD>

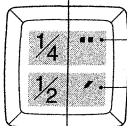
作成したい文書によって3種類のキーボードを選択します。キーボードの選択に合わせてデジターホイールカセットのタイプフェースを選びます。



コードキーを押したままキーボードセレクトキーを押して、キーボードを切り替えます。キーボードセレクトインジケータは次の順で切り替わります。



キーボード (I) | キーボード (II)



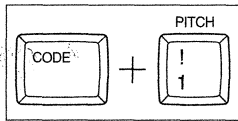
シフトキーを押したままタイプすると印字できます。
普通にタイプすると印字できます。(ノンシフト)

- I 通常は、< I > に設定します。(初期設定は< I > に設定されています。)
II キーの右側の文字をタイプしたいときは、インターナショナルのデジターホイールカセット (別売り) に替え、< II > に設定します。
III 特別な記号や数式などをタイプしたいときは、シンボルのデジターホイールカセット (別売り) に替え、< III > に設定します。

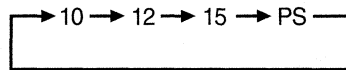
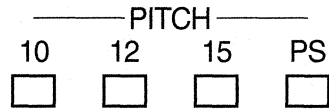
4. ピッチセレクトキー<PITCH>

ピッチとは1インチ（約2.5cm）内に印字できる文字数のことです。4種類（10, 12, 15, PS）のピッチが選択できます。

10 Pitch gives you a maximum number of 120 characters per line.
 12 Pitch gives you a maximum number of 144 characters per line.
 15 Pitch gives you a maximum number of 180 characters per line.
 PS Pitch gives you a maximum number of 238 characters per line.



コードキーを押したままピッチセレクトキーを押して、タイプピッチを切り替えます。ピッチセレクトインジケータは、次の順で切り替わります。



ピッチ	1インチ内の 印字文字数	1行内の 最大印字文字数
10 (バイカ)	10文字	120文字
12 (エリート)	12文字	144文字
15 (ミクロン)	15文字	180文字
PS (※)	最大20文字	238文字

※ PROPORTIONAL SPACING . . . 文字ごとに設定されたピッチで印字しますので、より一層きれいな印字ができます。

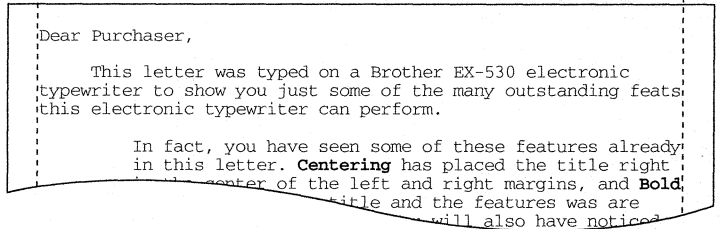
- 注) 1. 初期設定は<10>に設定されています。
 2. タイプ中の行でもピッチを変えることができます。

5. マージン

用紙に印字する左右幅をマージンといい、左端を左マージン、右端を右マージンと呼びます。

左マージン

右マージン



<初期設定>

	左マージン	右マージン
10ピッチ	10	75
12ピッチ	12	90
15ピッチ	15	112
PSピッチ	12	90

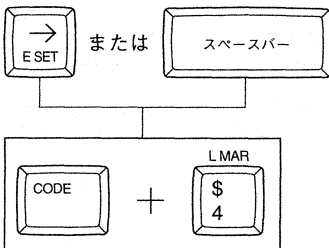
A 左マージンの設定 <L MAR>

● 現在の左マージンより右に設定する場合

1. カーソルライトキーまたはスペースバーを押して、左マージンを設定したい位置までキャリヤを移動させます。

注) キャリヤが右へ行き過ぎたときは、カーソルレフトキーまたはバックスペースキーでもどしてください。

2. コードキーを押したままレフトマージンキーを押すと、左マージンが設定されます。



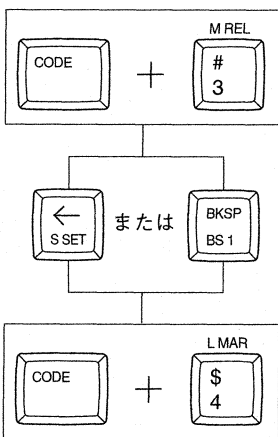
● 現在の左マージンより左に設定する場合

1. キャリヤを左マージンに移動させ、コードキーを押したままマージンリリースキーを押して、左マージンを一時的に解除します。

2. カーソルレフトキーまたはバックスペースキーを押して、左マージンを設定したい位置にキャリヤを移動させます。

注) キャリヤが左へ行き過ぎたときは、カーソルライトキーまたはスペースバーでもどしてください。

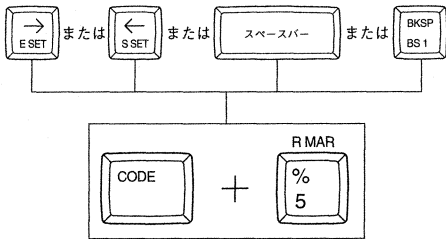
3. コードキーを押したままレフトマージンキーを押すと、左マージンが設定されます。



B 右マージンの設定 <R MAR>

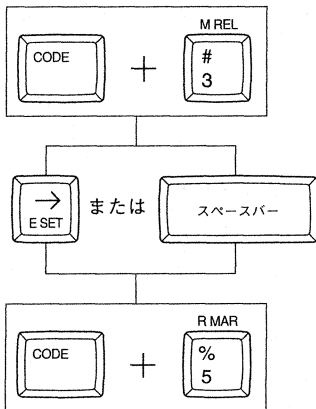
右マージンの設定をするときは、オートキャリヤリターンモードを解除してから設定してください。<オートキャリヤリターンキー> (16ページ) 参照

● 現在の右マージンより左に設定する場合



1. カーソルライトキー、カーソルレフトキー、スペースバーまたは、バックスペースキーを押して、右マージンを設定したい位置までキャリヤを移動させます。
2. コードキーを押したままライトマージンキーを押すと、右マージンが設定されず。

● 現在の右マージンより右に設定する場合



1. キャリヤを右マージンに移動させ、コードキーを押したままマージンリリースキーを押して、右マージンを一時的に解除します。
 2. カーソルライトキーまたはスペースバーを押して、右マージンを設定したい位置までキャリヤを移動させます。
- 注) キャリヤが右へ行き過ぎたときは、カーソルレフトキーまたはバックスペースキーでもどしてください。
3. コードキーを押したままライトマージンキーを押すと、右マージンが設定されず。

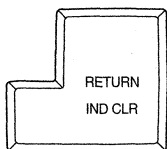
- 注) 1. 左右のマージンは、どこにでも設定できます。しかし、2インチ以内の間隔でマージンを設定しようとすると、電子音が鳴り設定できません。2インチの間隔とは 10ピッチ (バイカ) のときは20文字 (エクスパンドモード中は10文字) 12ピッチ (エリート) のときは24文字 (エクスパンドモード中は12文字) 15ピッチ (ミクロン) のときは30文字 (エクスパンドモード中は15文字) です。
2. マージンを超えてタイプしたいときは、コードキーを押したままマージンリリースキーを押してください。

C マージンの解除

新たにマージンを設定すると、前に設定したものは解除されます。

6. キャリヤリターン <RETURN>

行送りをして、キャリヤを左マージンにもどします。

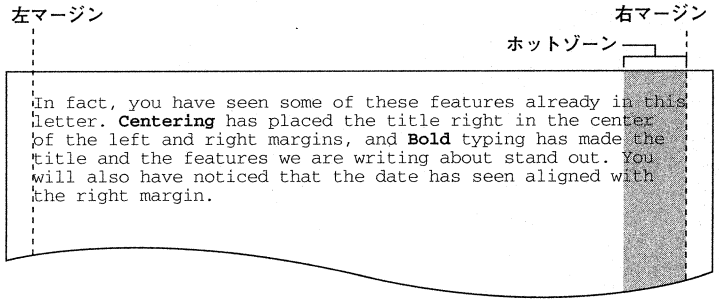


文章をタイプ中、リターンキーを押すと設定されているラインスペースで行送りをして、キャリヤは左マージンへ移動します。

注) オートキャリヤリターンモードでキャリヤを自動的に改行する方法もあります。<オートキャリヤリターンキー> (16ページ) 参照

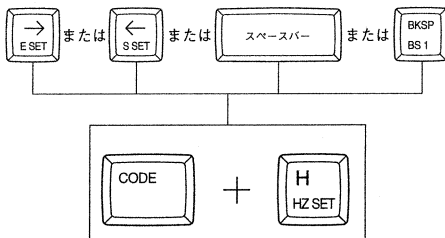
7. ホットゾーン

右マージンから手前6文字分をホットゾーンと呼び、キャリヤがホットゾーンに入ったとき電子音が鳴り、右マージンに近づいていることを知らせます。



● ホットゾーンの変更 <HZ SET>

ホットゾーンは右マージンから手前3~12文字の間で設定を変えることができます。



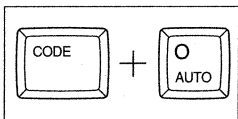
1. カーソルライトキー、カーソルレフトキー、スペースバーまたはバックスペースキーを押して、ホットゾーンを設定したい位置までキャリヤを移動させます。
2. コードキーを押したままホットゾーンセットキーを押すと、ホットゾーンが設定されます。

注) 右マージンから手前3文字未満、または右マージンから手前13文字以上の位置にホットゾーンを設定しようとした場合は電子音が鳴り設定できません。

8. オートキャリヤリターンキー <AUTO>

タイプ中に次の行へ移動するときは、通常リターンキーを使用しますが、オートキャリヤリターンモード<AUTO>にしておくとも自動的に改行します。

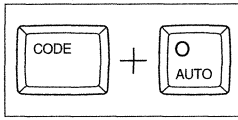
A オートキャリヤリターンモードの設定



コードキーを押したままオートキャリヤリターンキーを押します。オートキャリヤリターンインジケータが点灯し、手を離すと消灯します。ホットゾーン内でスペースバー・ハイフンキーを押すと、自動的に改行してキャリヤは左マージンに移動します。

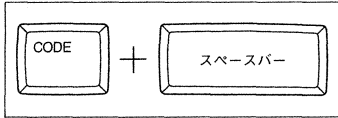
B オートキャリヤリターンモードの解除

オートキャリヤリターンモードを解除するには、もう一度コードキーを押したままオートキャリヤリターンキーを押します。オートキャリヤリターンインジケータが消灯します。



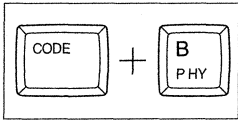
● パーマネントスペースバー

オートキャリヤリターンをせずに、ホットゾーン内でスペースをタイプしたいときは、コードキーを押したままスペースバーを押します。



● パーマネントハイフンキー

オートキャリヤリターンをせずに、ホットゾーン内でハイフンをタイプしたいときは、コードキーを押したままハイフンキーを押します。



- 注) 1. 文章をタイプ中、単語の途中で右マージンに到達したときは、コレクションキーを押してからハイフンキーを押すか、マージンリリースキーを押して残りの文字をタイプしてから改行します。
2. コードキーを押すとオートキャリヤリターンインジケータが点灯し、オートキャリヤリターンモードの状態を確認することができます。

9. バックスペース

3種類のバックスペースキーがあります。

A バックスペースキー <BKSP>

バックスペースキーを押すと、キャリヤが1文字分左に移動します。また、押し続けるとキャリヤは連続して移動します。

注) カーソルレフトキーを押してもバックスペースキーと同様にキャリヤが1文字分左に移動します。



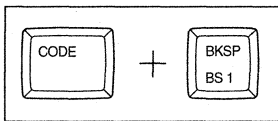
B バックスペース1キー <BS1>

コードキーを押したままバックスペース1キーを1回押すと、キャリヤが1/120インチ分左に移動します。

センタリングにより自動的に半文字分ずらしてタイプされた文章をマニュアルコレクションするときにも使用します。

その他、ローマ数字 (II, III) をタイプするときにも使用します。<重ね文字> (20ページ) 参照

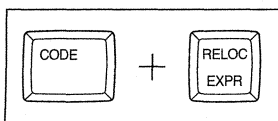
注) コードキーを押しながらカーソルレフトキーを押しても、バックスペース1キーと同様にキャリヤが1/120インチ分左に移動します。



C エクスプレスバックスペースキー <EXPR>

コードキーを押したままエクスプレスバックスペースキーを押します。

キャリヤが改行せず左マージンにすばやく移動します。



10. シフト・シフトロックキー

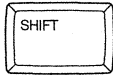
シフトキーを押したままタイプするとアルファベットの大文字やキー上段の記号をタイプし、シフトロックキーを使用するとシフトロックを解除するまで大文字でタイプし続けることができます。

シフトロック

BROTHER ELECTRONIC TYPEWRITER
Congratulations on becoming the proud owner of a
Brother Typewriter.

シフト

A シフトキー<SHIFT>

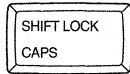


アルファベットの太文字やキー上段の記号を一時的にタイプしたいときは、シフトキーを押したままタイプします。

シフトキーは左右にあり、押している間はシフトインジケータが点灯します。

注) カナ英文コンビ仕様の場合は、アルファベットの太文字と数字がタイプできます。

B シフトロックキー<SHIFT LOCK>



アルファベットの太文字やキー上段の記号を続けてタイプしたいときは、シフトロックキーを押します。シフトロックキーを押すと、シフトインジケータが点灯します。

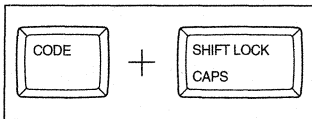
シフトロックキーを解除するには、シフトキーを押します。シフトインジケータが消灯します。

注) カナ英文コンビ仕様の場合は、アルファベットの太文字と数字がタイプできます。

11. キャプスキー <CAPS>

キャプスキーを使用すると、数字とアルファベットの太文字が同時にタイプできます。

TYPING THE NUMERICAL KEY IN LOWER CASE, FOR EXAMPLE,
1. 2. 3, THE DATE 6-21-1994, AND ETC, WILL BE EASILY
DONE.



コードキーを押したままキャプスキーを押します。

キャプスインジケータが点灯し、手を離すと消灯します。

キャプスを解除するには、もう一度コードキーを押したままキャプスキーを押します。キャプスインジケータが消灯します。

キー上段の記号は、シフトキーを押したままタイプします。

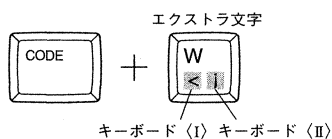
注) 1. カナ英文コンビ仕様の場合は、インターナショナルのデジザイブホイルカセット(別売り)に交換し、キーボードを<II>に切り替えてからタイプしてください。<キーボードセレクトキー>(11ページ)参照

2. シフトロック状態では、キャプスキーがはたらきません。シフトロックを解除してください。

3. コードキーを押すと、キャプスの状態を確認することができます。

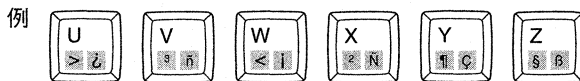
12. エクストラ文字キー

文字キーのエクストラ文字（緑色の文字）をタイプします。



コードキーを押したままエクストラ文字キーを押します。

エクストラ文字キー

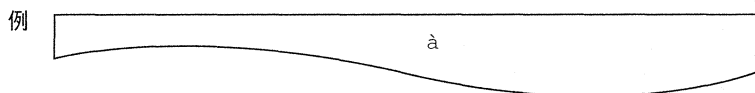


注) キーの右側の文字をタイプしたいときは、インターナショナルのデジザイールカセット（別売り）に交換し、キーボードを<II>に切り替えてからタイプしてください。<キーボードセレクトキー>（11ページ）参照

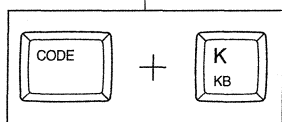
13. デッドキー


デッドキーは特殊な文字や記号をタイプしたいときに使用します。

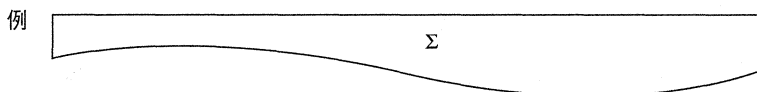
下記のようなデッド文字をタイプしたいときは、次の順序で操作します。



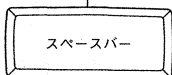
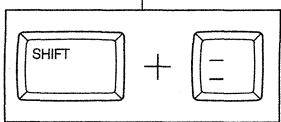
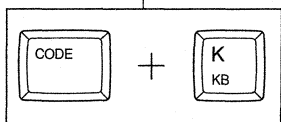
デジザイールカセット交換






1. インターナショナルのデジザイールカセット（別売り）をセットします。
2. コードキーを押したままキーボードセレクトキーを押して、キーボードを<II>に切り替えます。
3. デッドキー（）を押します。
4. 文字キー“A”を押します。“à”がタイプされ、キャリヤが移動します。



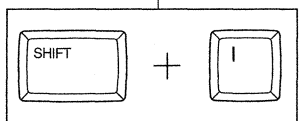
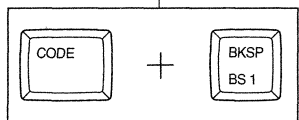
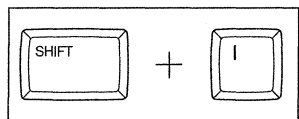
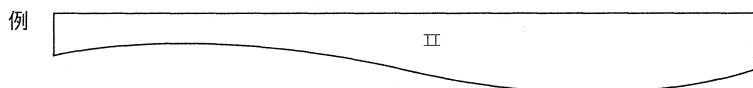
デジザイールカセット交換



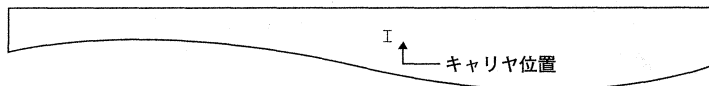
1. シンボルのデジザイールカセット（別売り）をセットします。
2. コードキーを押したままキーボードセレクトキーを押して、キーボードを<III>に切り替えます。
3. デッドキー（）を押します。
4. デッドキー（ + ）を押します。
5. スペースバーを押します。“Σ”がタイプされ、キャリヤが移動します。

14. 重ね文字

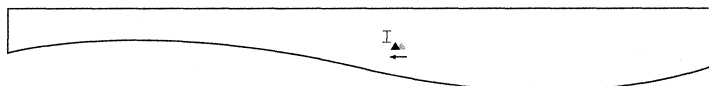
ボックススペースを活用して、文字を重ねてタイプすることができます。



1. シフトキーを押したまま文字キー“i”を押します。

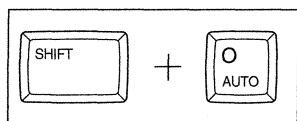
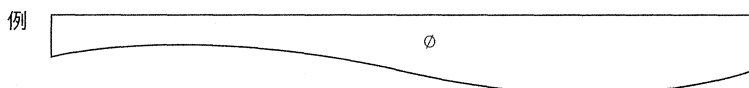
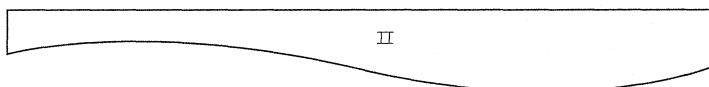


2. コードキーを押したままボックススペース1キーを続けて数回押します。

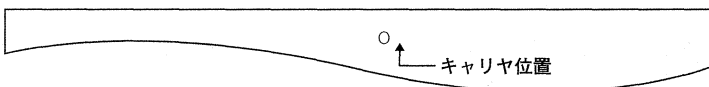


注) コードキーを押したままボックススペース1キーを1回押すと、キャリヤが1/120インチ左に移動します。<ボックススペース1キー> (17ページ) 参照

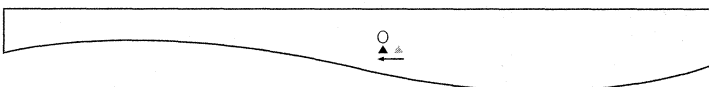
3. シフトキーを押したまま文字キー“i”を押します。



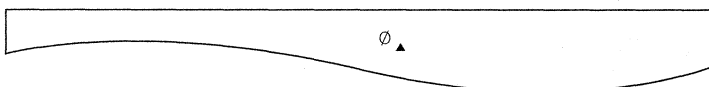
1. シフトキーを押したまま文字キー“O”を押します。



2. ボックススペースキーを押して、キャリヤを1文字分左に移動させます。



3. 記号キー“/”を押します。



注) 後からタイプした文字はオートコレクションで削除できますが、先にタイプした文字はマニュアルコレクションで削除してください。<マニュアルコレクション> (33ページ) 参照

15. インデックスキー<INDEX>・ リバースインデックスキー<R INDEX>

キャリアの位置に関係なく用紙を送ったり、もどしたりすることができます。



インデックスキーを押すと、半行（1/12インチ）用紙が送られます。

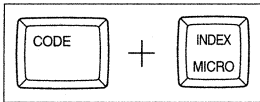


リバースインデックスキーを押すと、半行（1/12インチ）用紙がもどされます。

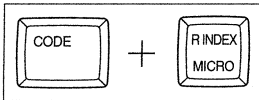
注) 用紙の挿入、排出に使用すると便利です。

16. マイクロインデックスキー<MICRO>・ マイクロリバースインデックスキー<MICRO>

微調整を行うときに使用します。罫線が入った用紙にタイプしたいときなどに便利です。



コードキーを押したままマイクロインデックスキーを押すと、1/48インチ用紙が送られます。



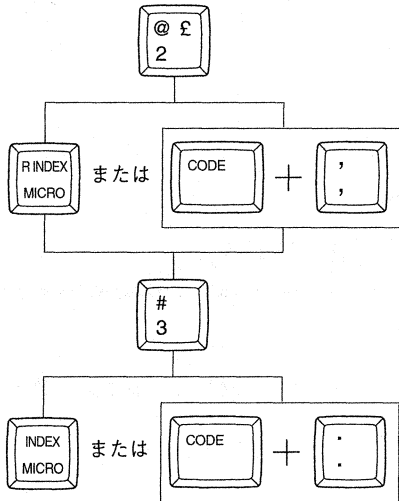
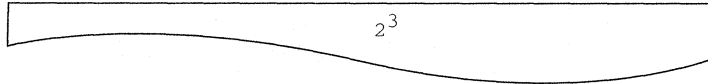
コードキーを押したままマイクロリバースインデックスキーを押すと、1/48インチ用紙がもどされます。

注) 印字位置の微調整に使用すると便利です。

17. スーパースクリプト (上つき文字) <R INDEX>

現在タイプしている行よりも、半行分上にタイプしたいときに使用します。指数などのタイプに便利です。

例



1. 数字キー“2”を押します。

2. リバースインデックスキー、またはコードキーを押したままコンマキーを押します。用紙を半行分 (1/12インチ) もどします。

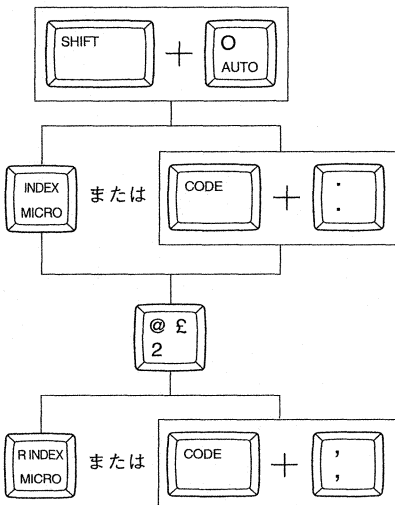
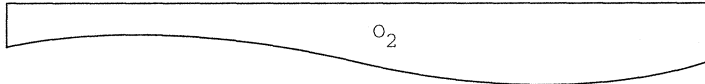
3. 数字キー“3”を押します。

4. インデックスキー、またはコードキーを押したままピリオドキーを押して、用紙をもとの位置にもどします。

18. サブスクリプト (下つき文字) <INDEX>

現在タイプしている行よりも、半行分下にタイプしたいときに使用します。化学記号などのタイプに便利です。

例



1. シフトキーを押したまま文字キー“O”を押します。

2. インデックスキー、またはコードキーを押したままピリオドキーを押します。用紙を半行分 (1/12インチ) 送ります。

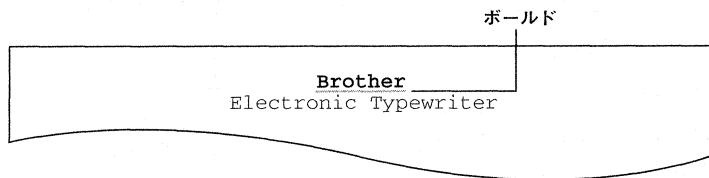
3. 数字キー“2”を押します。

4. リバースインデックスキー、またはコードキーを押したままコンマキーを押して、用紙をもとの位置にもどします。

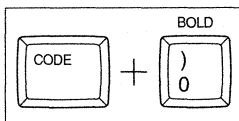
第3章 応用機能

1. ボールドキー <BOLD>

太文字をタイプしたいときに使用します。文字中の単語を強調したいときなどに便利です。

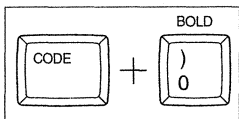


A ボールドの設定



コードキーを押したままボールドキーを押します。ボールドインジケータが点灯し、手を離すと消灯します。

B ボールドの解除

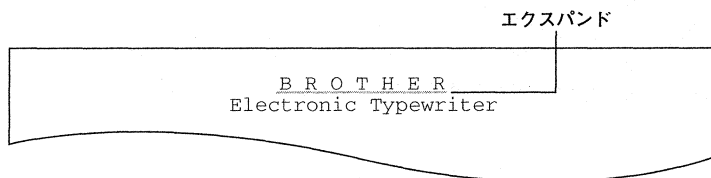


ボールドを解除するには、もう一度コードキーを押したままボールドキーを押します。ボールドインジケータが消灯します。

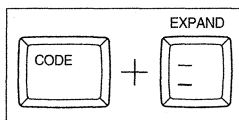
- 注) 1. センタリング、ライトマージンフラッシュ、デシマルタブ、オートアンダーラインまたはエクスパンドを行うときでも、ボールドキーを同時に使うことができます。
2. コードキーを押すと、ボールドの状態を確認することができます。

2. エクスパンドキー <EXPAND>

文字と文字の間を1文字分あけてタイプでき、タイトルなどのタイプに便利です。

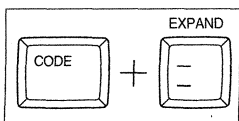


A エクスパンドの設定



コードキーを押したままエクスパンドキーを押します。エクスパンドインジケータが点灯し、手を離すと消灯します。

B エクスパンドの解除

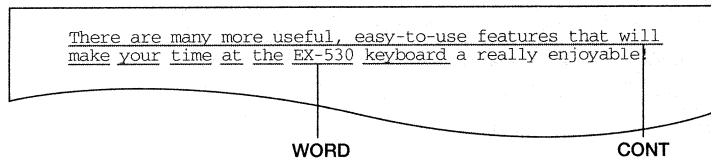


エクスパンドを解除するには、もう一度コードキーを押したままエクスパンドキーを押します。エクスパンドインジケータが消灯します。

- 注) 1. センタリング、ライトマージンフラッシュ、デシマルタブ、オートアンダーラインまたはボールドを行うときでも、エクスパンドキーを同時に使うことができます。
2. コードキーを押すと、エクスパンドの状態を確認することができます。

3. オートアンダーラインキー <UNDLN>

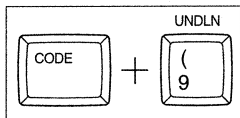
単語または文章全体にアンダーラインを引きたいときに使用します。



A オートアンダーラインの設定

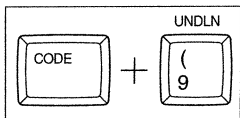
● 文章全体 (CONT) にアンダーラインを引く場合

コードキーを押したままオートアンダーラインキーを1回押します。オートアンダーライン (CONT) インジケータが点灯し、手を離すと消灯します。タイプする文字やスペースに自動的にアンダーラインが引かれます。



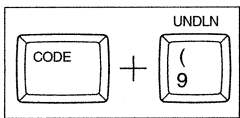
● 単語 (WORD) にアンダーラインを引く場合

コードキーを押したままオートアンダーラインキーを2回押すと、オートアンダーライン (WORD) インジケータが点灯し、単語だけにアンダーラインが引かれます。



B オートアンダーラインの解除

オートアンダーラインを解除するには、
(CONT) インジケータが点灯している場合は、コードキーを押したままオートアンダーラインキーを2回押します。
(WORD) インジケータが点灯している場合は、コードキーを押したままオートアンダーラインキーを1回押します。
オートアンダーラインインジケータが消灯します。



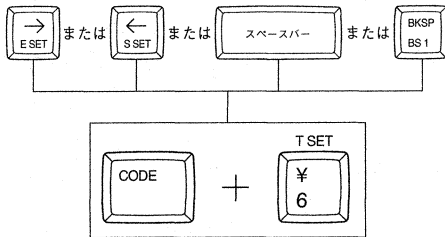
- 注) 1. センタリング、ライトマージンフラッシュ、デシマルタブ、ボールドまたはエキスパンドを行うときでも、オートアンダーラインキーを同時に使うことができます。
2. コードキーを押すと、現在のオートアンダーラインの状態を確認することができます。

4. タブ

文章の書き出し位置をそろえる機能です。伝票や表の形式に合わせてタイプするときに便利です。

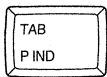
タブ	タブ	タブ
NO. of O ₂ Cylinders	Unit Price	Total Cost
65	9.84	639.60
104	34.97	3636.88
169	44.81	4276.48

A タブの設定 <T SET>



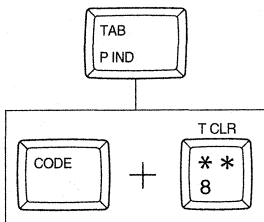
- カーソルライトキー、カーソルレフトキー、スペースバーまたはバックスペースキーを押して、タブを設定したい位置までキャリヤを移動させます。
- コードキーを押したままタブセットキーを押して、タブを設定します。

B タブの実施 <TAB>



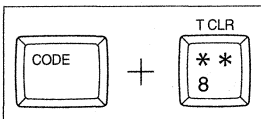
- タブキーを押します。キャリヤはすぐ右のタブ位置まで移動します。
注) キャリヤより右側にタブを設定していないときは、右マージンまで移動します。

C タブの解除 <T CLR>



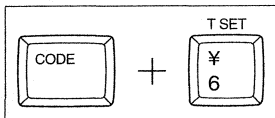
- タブキーを押して、解除したいタブ位置までキャリヤを移動させます。
- コードキーを押したままタブクリアキーを押して、タブを解除します。

● タブのオールクリア



コードキーを押したままタブクリアキーを0.5秒以上押し続けると、すべてのタブ・デシマルタブが解除されます。

● タブの自動設定



コードキーを押したままタブセットキーを0.5秒以上押し続けると、マージン間にその時のピッチで10文字ごとにタブが設定されます。

注) それまで設定されていたタブ・デシマルタブはすべて解除されます。

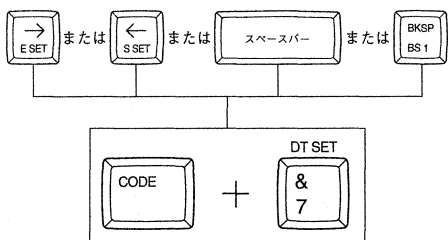
- 注) 1. 1行内に最大30箇所（デシマルタブも含む）まで設定できます。
2. タブ位置は、マージンスケール<0>からの絶対位置で設定します。左マージンやピッチを変えても変化しません。
3. 初期設定はマージン間に10文字ごとにタブが設定されています。

5. デシマルタブ

数字の小数点をそろえる機能です。会計報告など小数点を含む数字を小数点そろえでタイプするときに便利です。

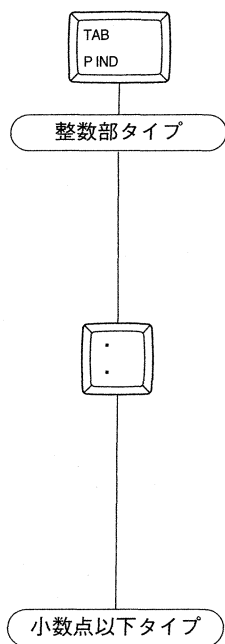
デシマルタブ	デシマルタブ	デシマルタブ
65	9.84	639.60
104	34.97	3636.88
169	44.81	4276.48

A デシマルタブの設定 <DT SET>



- カーソルライトキー、カーソルレフトキー、スペースバーまたはバックスペースキーを押して、デシマルタブを設定したい位置（小数点の位置）までキャリヤを移動させます。
 - コードキーを押したままデシマルタブセットキーを押して、デシマルタブを設定します。
- 注) デシマルタブを設定する位置にタブが設定されているときは、デシマルタブに置き換わります。

B デシマルタブの実施 <TAB>



- タブキーを押します。デシマルタブインジケータが数回点滅して、キャリヤがデシマルタブ位置まで移動します。
 - 整数部（文字も含む）をタイプします。タイプした文字は直接印字せず、1文字ごとにキャリヤは左に移動します。
- 注) 1. タイプした文字を削除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。1回押すとタイプした文字をすべて削除して、キャリヤはデシマルタブ位置にもどります。
2. 入力可能文字数は、左マージンまたはすでに印字されている文字列からデシマルタブ位置までの範囲です。
- 小数点をタイプします。タイプした文字と小数点が印字されます。デシマルタブモードを解除します。

9.

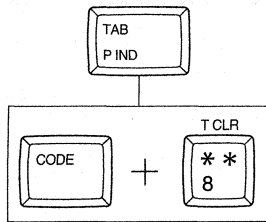
注) 整数部だけタイプしたいときは、小数点の代わりにタブキーまたはリターンキーを押します。

- 小数点以下をタイプします。

9.84

- 注) 1. タイプ中に電子音が鳴ったときは、すでに印字済みの隣の文字との間隔が1文字分しかないときです。このときは、デシマルタブ位置を変更してタイプし直してください。
2. 文章をタイプしている途中でデシマルタブの実施を解除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押してタイプした文字を削除してから、コレクションキーを押してデシマルタブの実施を解除してください。

C デシマルタブの解除 <T CLR>



1. タブキーを押して、解除したいタブ位置までキャリヤを移動させます。

2. コードキーを押したままタブクリアキーを押してタブを解除します。

注) コードキーを押したままタブクリアキーを0.5秒以上押し続けると、すべてのタブ・デシマルタブが解除されます。<タブのオールクリア> (25ページ) 参照

注) 1. 1行内に最大30箇所 (タブも含む) まで設定できます。

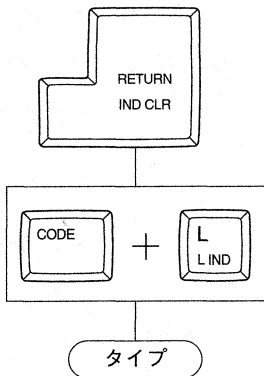
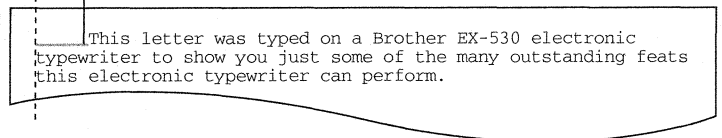
2. デシマルタブ位置は、マージンスケール<0>からの絶対位置で設定します。左マージンやピッチを変えても変化しません。

3. コードキーを押すと、デシマルタブの状態を確認することができます。

6. ラインインデントキー <L IND>

手紙などをタイプするとき、最初の行を5文字分あけたいときに使用します。

左マージン
ラインインデント



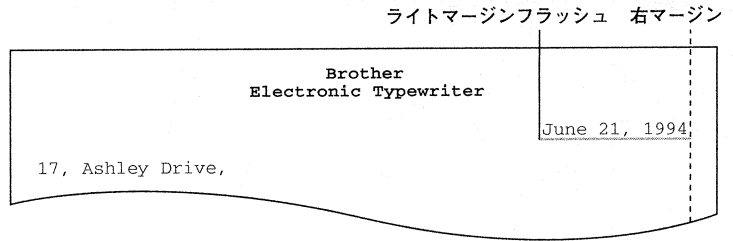
1. リターンキーを押して、キャリヤを左マージンまで移動させます。

2. コードキーを押したままラインインデントキーを押すと、キャリヤは5文字分右に移動します。

3. 文章をタイプします。

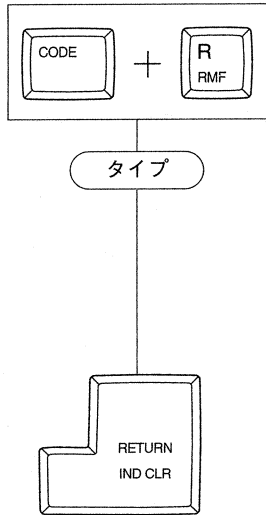
7. ライトマージンフラッシュキー <RMF>

語句を右マージンで右寄せ印字したいときに使用します。日付などのタイプに便利です。

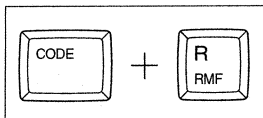


A ライトマージンフラッシュの設定

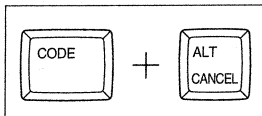
1. コードキーを押したままライトマージンフラッシュキーを押すと、キャリヤは右マージンに移動します。
2. 文章をタイプします。タイプした文章は直接印字せず、1文字ごとにキャリヤは左に移動します。
注) 1. タイプした文字を削除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。1回押すとタイプした文字をすべて削除して、キャリヤは右マージンまで移動します。
2. 入力可能文字数は、左マージンまたはすでに印字されている文字列から右マージンまでの範囲です。
3. リターンキーを押すと、右マージンで右寄せ印字します。キャリヤは改行して左マージンに移動します。
注) タイプ中に電子音が鳴ったときは、すでに印字済みの隣りの文字との間隔が1文字しかないときです。これ以上タイプできません。



または



または



B ライトマージンフラッシュの解除

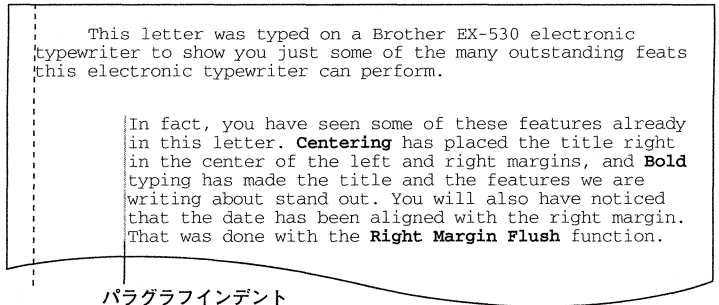
ライトマージンフラッシュを解除するには、コレクションキー、またはコードキーを押したままライトマージンフラッシュキー、またはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。キャリヤはもとの位置にもどり、ライトマージンフラッシュモードは解除されません。

注) 文章をタイプしている途中でライトマージンフラッシュを解除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押して、タイプした文字を削除してからライトマージンフラッシュモードを解除してください。

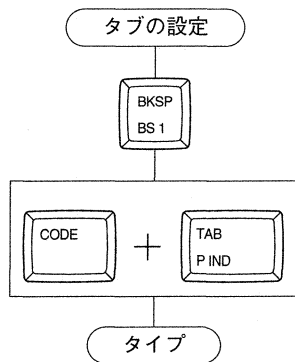
8. パラグラフインデントキー <P IND>

文章または引用文全体に、一時的な仮の左マージンを設定したいときに使用します。

左マージン

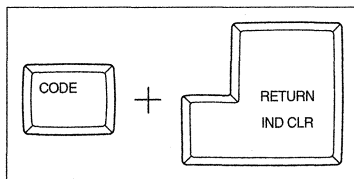


A パラグラフインデントの設定



1. パラグラフインデントを実施したい位置にタブを設定します。<タブの設定> (25ページ) 参照
2. バックスペースキーを押して、1.で設定したタブ位置からキャリヤを1文字分以上左に移動させます。
3. コードキーを押したままパラグラフインデントキーを押します。キャリヤは1.で設定したタブ位置まで移動します。(デシマルタブは無視します。)パラグラフインデントインジケータが点灯し、手を離すと消灯します。この位置が仮の左マージンになります。
4. 文章をタイプします。リターンキーを押すと、キャリヤは自動的にパラグラフインデントを設定した位置に移動します。

B パラグラフインデントの解除 <IND CLR>

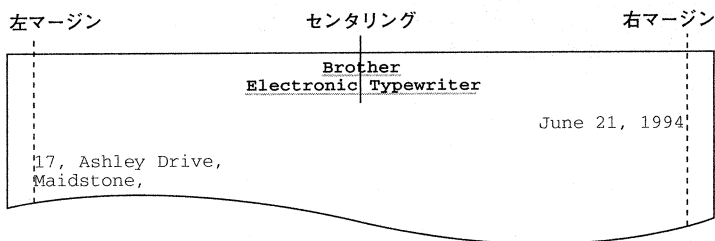


パラグラフインデントを解除するには、コードキーを押したままインデントクリアキーを押します。キャリヤは改行して自動的にもとの左マージンに移動し、パラグラフインデントインジケータが消灯します。

- 注) 1. パラグラフインデントの設定位置より左にタイプしたいときは、バックスペースキーを押してください。その後、リターンキーを押すと、自動的にパラグラフインデントの設定位置にもどります。
2. パラグラフインデントを実施するには、必ずタブを設定しておいてください。タブがいくつも設定してあるときは、現在のキャリヤ位置のすぐ右のタブ位置がパラグラフインデントの設定位置になります。
 3. ホットゾーン内では、設定できません。
 4. コードキーを押すと、パラグラフインデントの状態を確認することができます。

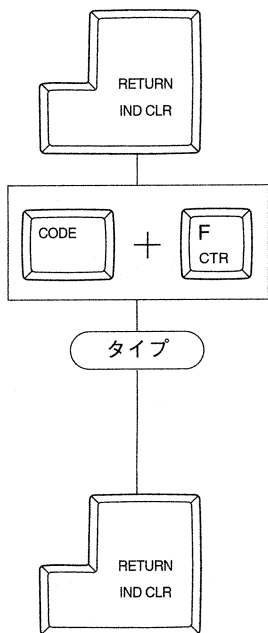
9. センタリング<CTR>

マージン間やタブ間等の中央にタイプしたいときに使用します。見出しやタイトルなどのタイプに便利です。



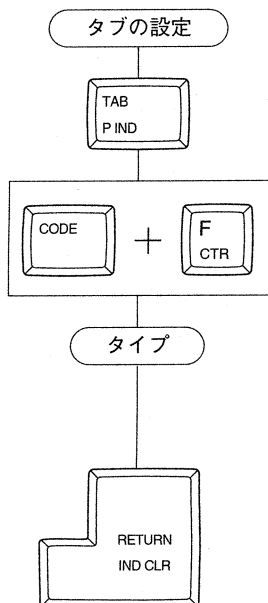
A マージン間のセンタリングの設定

- リターンキーを押して、キャリヤを左マージンまで移動させます。
 - コードキーを押したままセンタリングキーを押します。キャリヤはマージン間の中央に移動します。
 - 文章をタイプします。タイプした文章は直接印字せず、1文字ごとにキャリヤは左に移動します。
- 注) タイプした文章を削除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。1回押すとタイプした文字をすべて削除して、キャリヤはマージン間の中央にもどります。
- リターンキーを押すと中央にタイプし、キャリヤは改行して左マージンまで移動します。

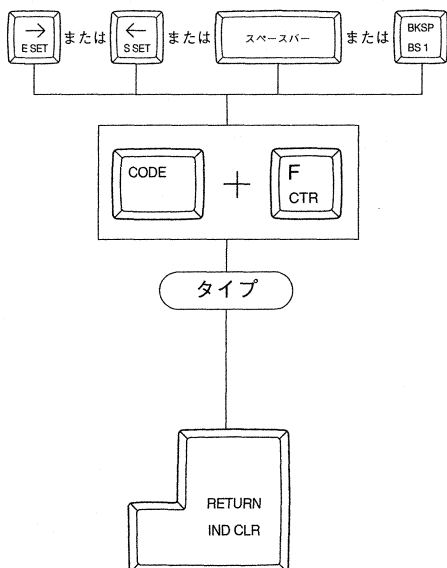


B タブ間のセンタリングの設定

- タブを設定します。<タブの設定> (25ページ) 参照
 - タブキーを押して、キャリヤをタブ位置まで移動させます。
 - コードキーを押したままセンタリングキーを押します。キャリヤはタブ間の中央に移動します。
- 注) 現在のキャリヤ位置より右側にタブを設定していないときは、右マージン間との中央にキャリヤが移動します。
- 文章をタイプします。タイプした文章は直接印字せず、1文字ごとにキャリヤが左に移動します。
- 注) タイプした文章を削除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。1回押すとタイプした文章を削除して、キャリヤはタブ間の中央にもどります。
- リターンキーを押すと中央にタイプし、キャリヤが改行して左マージンまで移動します。

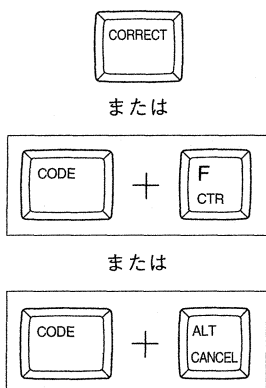


C 任意の位置でのセンタリングの設定



1. カーソルライトキー、カーソルレフトキー、スペースバーまたはバックスペースキーを押して、センタリングを実施したい位置までキャリヤを移動させます。
 2. コードキーを押したままセンタリングキーを押します。キャリヤは移動せず、その位置がセンタリングの中心になります。
 3. 文章をタイプします。タイプした文章は直接印字せず、1文字ごとにキャリヤが左に移動します。
- 注) タイプした文章を削除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。1回押すとタイプした文字をすべて削除してキャリヤはセンタリング開始位置にもどります。
4. リターンキーを押すと中央にタイプし、キャリヤは改行して左マージンまで移動します。

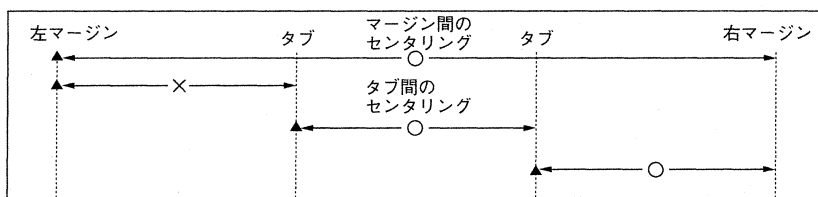
D センタリングの解除



センタリングを解除するには、コレクションキー、またはコードキーを押したままセンタリングキー、またはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。センタリングモードを解除してキャリヤがもとの位置にもどります。タブキーやリターンキーを押してもセンタリングモードは解除できません。

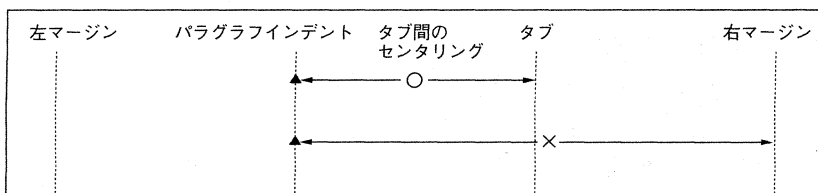
注) 文章をタイプしている途中でセンタリングモードを解除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押して、タイプした文字を解除してからセンタリングモードを解除してください。

- 注) 1. タイプ中に電子音が鳴ったときは、入力可能文字を越えたときです。タブ間センタリングの場合はタブ位置を変更してタイプし直してください。任意の位置でのセンタリングの場合はセンタリング開始位置を変更してタイプし直してください。
2. キャリヤが左マージンまたはタブ位置にないときは、任意の位置でのセンタリングとなります。
 3. マージン間、タブ間センタリングは、次の間で行うことができます。



▲：キャリヤ位置

4. パラグラフインデントの設定位置では、次のタブとの間でセンタリングされます。



▲：キャリヤ位置

5. デシマルタブ位置にキャリヤがあるときは、センタリングはできません。

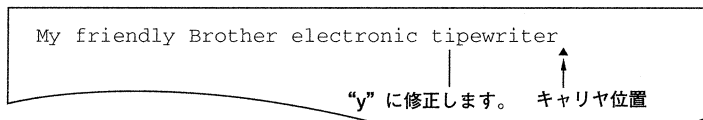
10. コレクション <CORRECT>

タイプした文字を簡単に削除し、修正することができます。オートコレクションとマニュアルコレクションの2通りの方法があります。

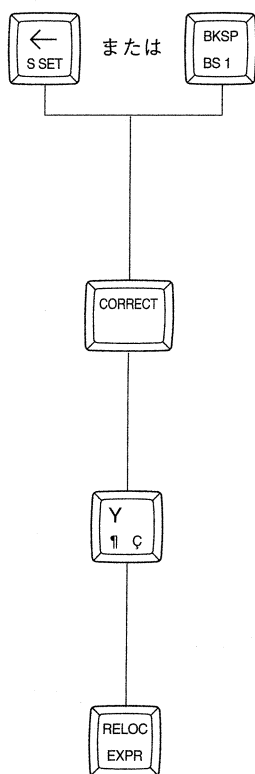
A オートコレクション

タイプ中の1行（オートコレクション領域）は、コレクションキーで簡単に修正することができます。

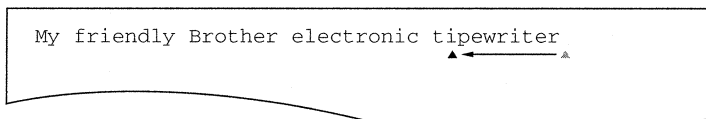
例



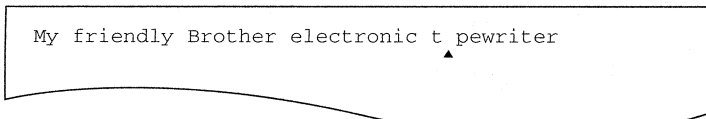
上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとで、リターンキーは押さないでください。“tipewriter”の“i”を“y”に修正します。



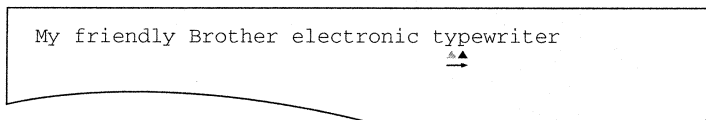
1. カーソル左キーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを修正しようとする文字まで移動させます。“tipewriter”という単語の“i”という文字の部分です。



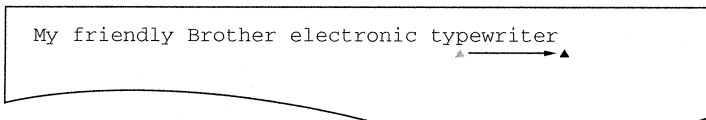
2. コレクションキーを押すと、“i”の文字が用紙から削除されます。



3. 正しい文字キー“y”をタイプします。



4. リロケートキーを押すと、キャリヤは修正前のもとの印字位置にすばやくもどります。

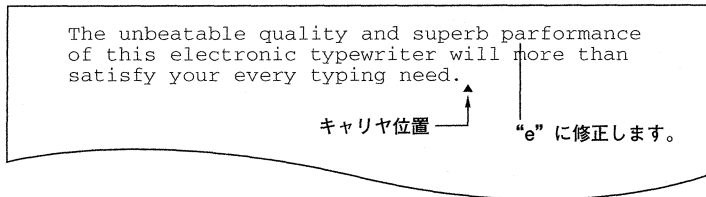


- 注) 1. 改行した場合は、オートコレクションできません。
2. コレクションキーを押し続けると、左にある文字を連続して削除します。
 3. エクスパンド文字、アンダーライン付きの文字、ボールドの文字、スーパーSCRIPTやサブSCRIPTの文字も、オートコレクションできません。
 4. バックスペースキーを使った重ね文字は、最後にタイプした文字のみをオートコレクションします。
 5. キーボード<I>でタイプ中に、<II>または<III>でタイプした文字をオートコレクションするには、デジタイザカセットを交換し、キーボードを切り替えてから削除してください。
 6. 1単語すべてを削除するときは、ワードアウトキーを使うと便利です。<ワードアウトキー> (35ページ) 参照
 7. 1行すべてを削除するときは、ラインアウトキーを使うと便利です。<ラインアウトキー> (36ページ) 参照

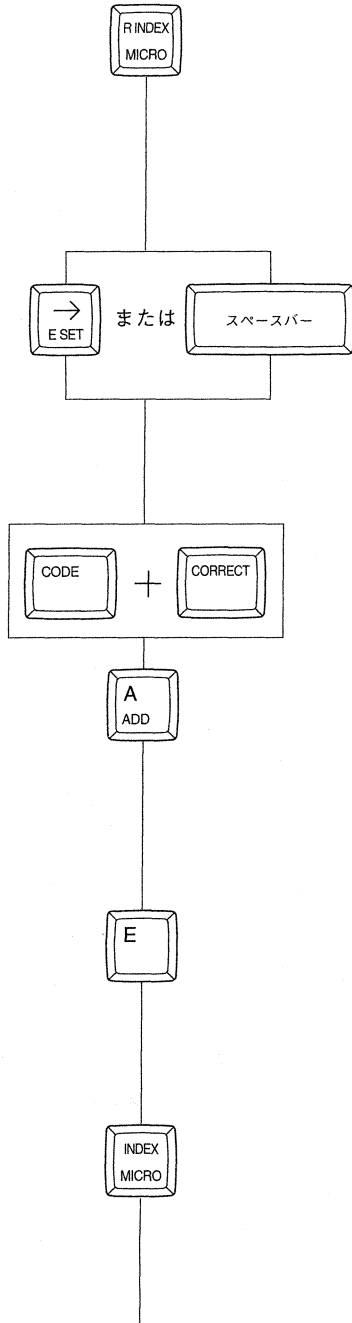
B マニュアルコレクション

オートコレクション領域外の修正は、マニュアルで行います。

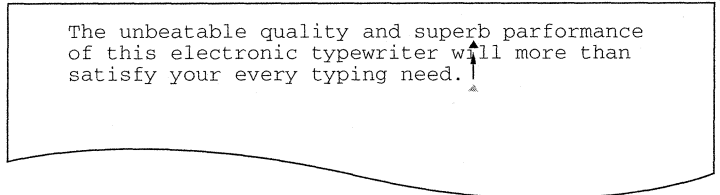
例



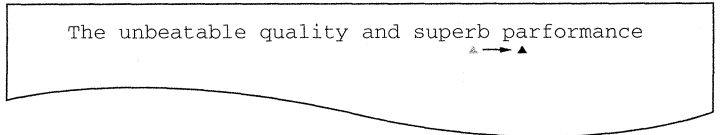
上の文章をそのままタイプしてください。修正したい単語のある行がオートコレクション領域外にありますので、マニュアルコレクションで修正を行います。“performance”の“a”を“e”に修正します。



1. リバーインデックスキーを押して、修正したい行まで用紙をもどします。

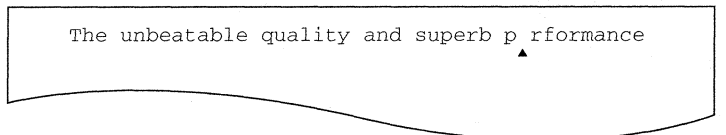


2. カーソルライトキーまたはスペースバーを押して、修正したい位置までキャリヤを移動させます。

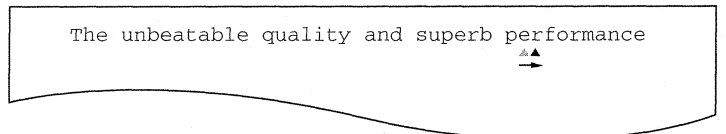


3. コードキーを押したままコレクションキーを押すと、マニュアルコレクションモードになります。

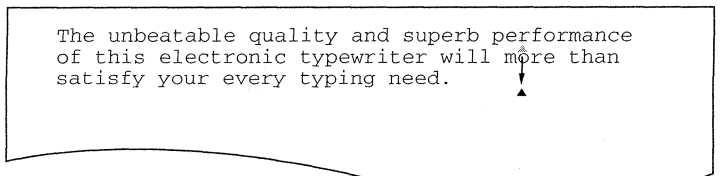
4. 修正したい文字“a”をタイプします。用紙から“a”が削除されます。

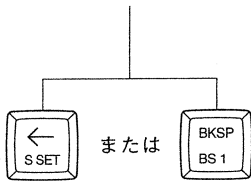


5. 正しい文字“e”をタイプします。

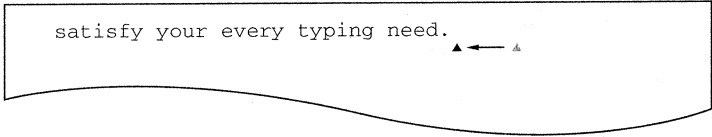


6. インデックスキーを押してもとの行にもどします。



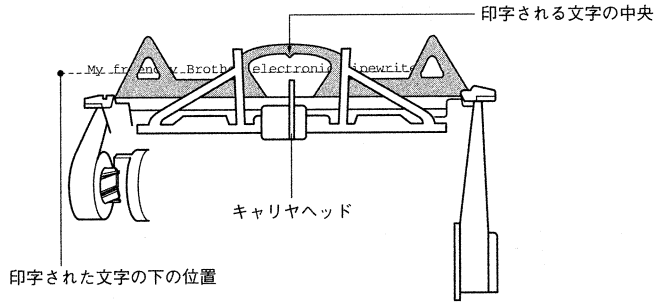


7. カーソルレフトキーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤをもとの印字位置にもどします。



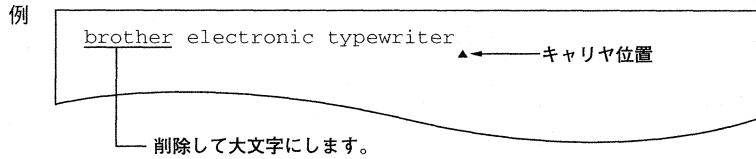
注) マニュアルコレクションモードを解除したいときは、スペースバーを押します。

●ペーパーメーターの使い方

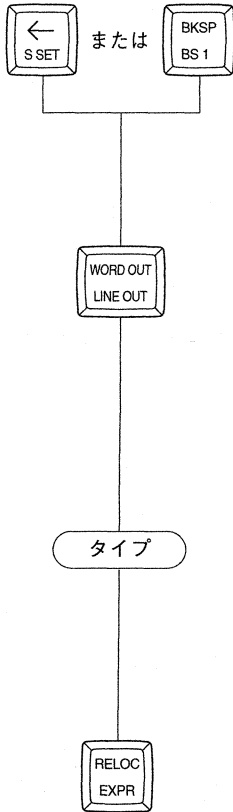


11. ワードアウトキー <WORD OUT>

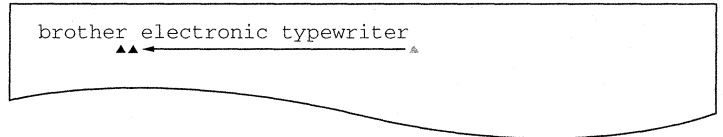
タイプ中の行であれば、1つの単語全体を削除することができます。



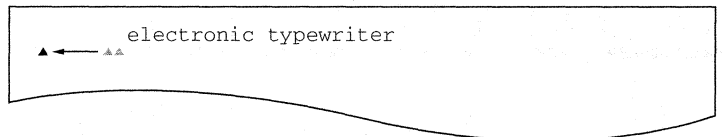
上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとでリターンキーは押さないでください。“brother”を“BROTHER”に修正します。



1. カーソルレフトキーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを“r”または次のスペースの位置に移動させます。

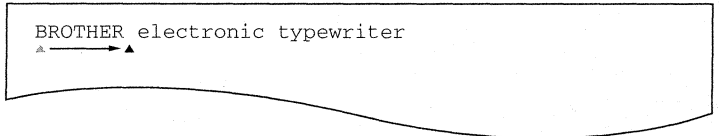


2. ワードアウトキーを押すと、単語が1文字ずつ削除されます。

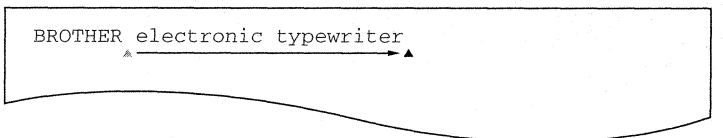


注) ワードアウトキーで単語を削除中、途中で中止したいときは、コレクションキーを押すとその位置でキャリヤは止まります。

3. 新しい単語をタイプします。



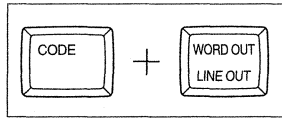
4. リロケートキーを押すと、キャリヤは修正前のもとの位置にすばやくもどります。



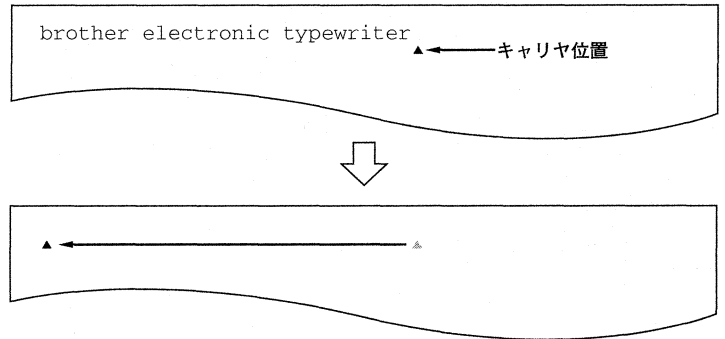
- 注) 1. 改行した場合は、ワードアウトできません。
 2. キャリヤが単語の途中の位置にあったとき、ワードアウトはその位置から単語の先頭までを削除します。
 3. キャリヤが単語の最後の文字、またはその単語の次のスペースの位置にあるときのみ有効です。

12. ラインアウトキー <LINE OUT>

タイプ中の行であれば、その行全体を削除することができます。

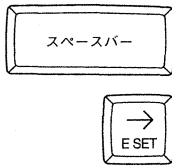


コードキーを押したままラインアウトキーを押します。
 キャリヤの位置からその行の先頭の文字まで、連続して削除します。



- 注) 1. コードキーを押したままマージンリリースキーを押して、マージンを越えてタイプした文字も削除できます。
 2. ラインアウトキーで文章を削除中、途中で中止したいときはコレクションキーを押すと、その位置でキャリヤは止まります。

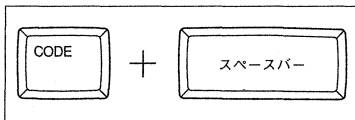
13. キャリヤ移動キー



スペースバー

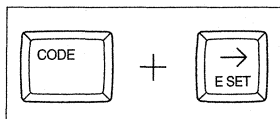
カーソル
 ライトキー

キャリヤが右方向に移動します。
 注) 押し続けると連続して移動します。



パーマネント
 スペースバー

キャリヤが右方向に移動します。
 ホットゾーン内でスペースを入れたいときに使します。



マイクロ
 スペースキー

キャリヤが1/120 インチ右に移動します。

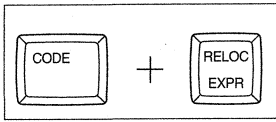


バック
 スペースキー

キャリヤが左方向に移動します。
 注) 押し続けると連続して移動します。

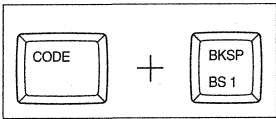


カーソル
 レフトキー



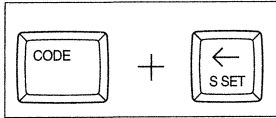
エクスプレス
バックスペースキー

..... キャリヤが左マージンに移動します。
注) 改行動作はしません。*

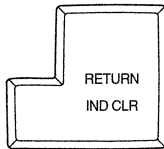


バックスペース1キー

..... キャリヤが1/120インチ左に移動します。



マイクロバック
スペースキー



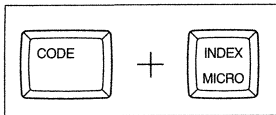
リターンキー

..... 改行し、キャリヤが左マージンに移動します。



インデックスキー

..... 1/12インチ用紙を送ります。
ラインスペースと押す回数は、<リバースインデックス
キー>を参照してください。
注) 押し続けると、連続して用紙を送ります。



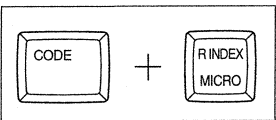
マイクロ
インデックスキー

..... 1/48インチ用紙を送ります。



リバース
インデックスキー

..... 1/12インチ用紙をもどします。
・ ラインスペースが<1>のとき、2回押すともとの行
にもどります。
・ ラインスペースが<1 1/2>のとき、3回押すともとの
行にもどります。
・ ラインスペースが<2>のとき、4回押すともとの行
にもどります。
注) 押し続けると、連続して用紙をもどします。



マイクロリバース
インデックスキー

..... 1/48インチ用紙をもどします。



リロケートキー

..... キャリヤが行末に移動します。

14. ラインフォーム <FORMAT>

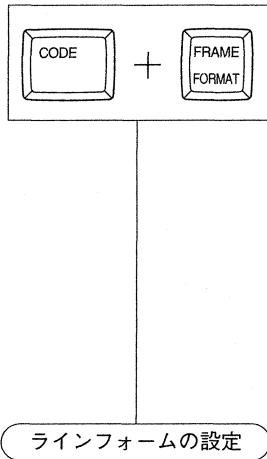
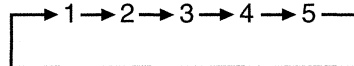
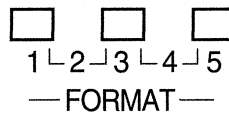
よく使われるラインフォームを、5種類登録することができます。

登録できるラインフォームは、ピッチ・ラインスペース・ホットゾーン・左マージン・右マージン・タブ・デシマルタブ・スタートライン・エンドラインです。これらのラインフォームは、いつでも呼び出すことができます。

<初期設定>	ピッチ	10	タブ	左右マージン間に10文字ごと
	ラインスペース	1	デシマルタブ	設定なし
	ホットゾーン	6	スタートライン	用紙上端より1インチ
	左マージン	10	エンドライン	設定なし
	右マージン	75		

A ラインフォームの登録

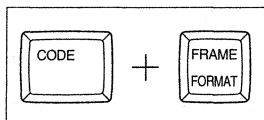
1. コードキーを押したままフォーマットキーを押して、登録したいフォーマットナンバーをフォーマットインジケーターに表示させます。フォーマットインジケーターは次の順で切り替わります。



2. 登録したいラインフォームを設定します。

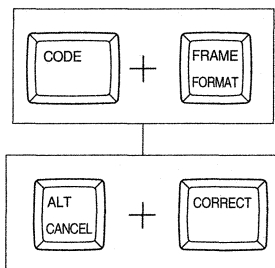
B ラインフォームの呼び出し

コードキーを押したままフォーマットキーを押して、呼び出したいフォーマットナンバーをフォーマットインジケーターに表示させます。登録されているラインフォームが呼び出されます。



C ラインフォームのクリア

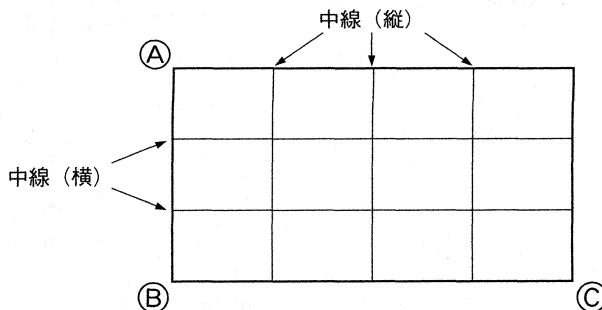
1. コードキーを押したままフォーマットキーを押して、クリアしたいフォーマットナンバーをフォーマットインジケーターに表示させます。
2. アルトキーを押したままコレクションキーを押します。電子音が鳴り、登録されているラインフォームはすべて解除され初期設定にもどります。



- 注) 1. アルトキーを押したままフォーマットキーを押して、フォーマットナンバーを切り替えることもできます。
 2. 現在のフォーマットナンバーに新しいラインフォームを登録すると、以前のラインフォームは解除されます。
 3. アルトキーを押すと、現在呼び出し中のフォーマットナンバーを確認することができます。

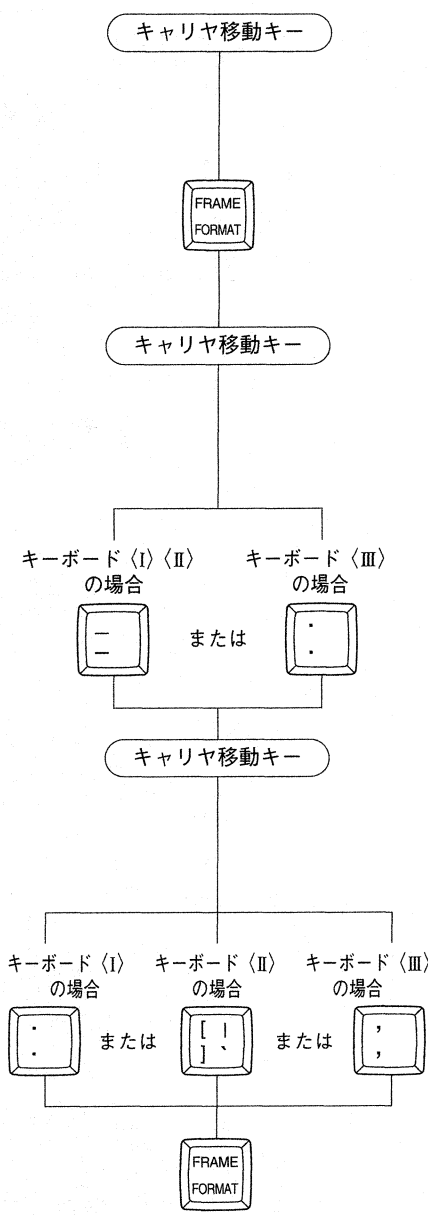
15. フレーミング <FRAME>

縦線・横線を引いて作表することができます。



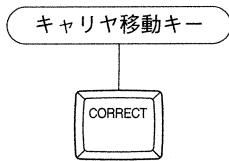
- 注) 1. キーボードが<I>、<II>、<III>のいずれの場合でもフレーミング機能を使用することはできますが、キーボード<I>の場合、縦線は点線となります。実線を引きたい場合はキーボードを<II>または<III>に切り替え、キーボードが<II>の場合はインターナショナルのデジザイルホイールカセットを、キーボードが<III>の場合はシンボルのデジザイルホイールカセットをセットしてください。
2. キーボードを<II>または<III>に切り替え、デジザイルホイールカセットをインターナショナルまたはシンボルに入れ替えた場合、横線で二重線を引くことができます。キーボード<I>では横線で二重線を引くことはできません。

A フレーミングの枠指定



- カーソルライトキー ()、カーソルレフトキー ()、インデックスキー ()、リバースインデックスキー ()、タブキー () 等のキャリヤ移動キーを押してフレーミング開始位置 (枠の左上端 (A)) までキャリヤを移動させます。
 - フレームキーを押すと、枠の左上端 (A) が決定し、フレーミングモードとなり、ピッチセレクトインジケータ “10” “12” が点滅します。
- 注) 枠の上端の横線を二重線にしたい場合は、ここで二重アンダーラインキー () を押します。
- インデックスキー ()、リバースインデックスキー ()、マイクロインデックスキー (+)、マイクロリバースインデックスキー (+)、またはリターンキー () 等のキャリヤ移動キーを押して、中線 (横) を引きたい位置までキャリヤを下に移動させます。
 - 中線 (横) を引きたい位置までキャリヤを移動させたら、アンダーラインキャラクターキー (キーボード<I><II>の場合) またはピリオドキー (キーボード<III>の場合) を押します。このようにキャリヤを移動させながら中線 (横) を指定し、枠の下端 (B) までキャリヤを移動させます。
 - 枠の下端 (B) までキャリヤを移動させたら、カーソルライトキー ()、カーソルレフトキー ()、スペースバー ()、バックスペースキー ()、バックスペース1キー () またはタブキー () 等のキャリヤ移動キーを押して、中線 (縦) を引きたい位置までキャリヤを右方向に移動させます。
 - 中線 (縦) を引きたい位置までキャリヤを移動させたら、ピリオドキー (キーボード<I>の場合)、バーチカルバー (キーボード<II>の場合) または、コンマキー (キーボード<III>の場合) を押します。このようにキャリヤを移動させながら中線 (縦) を指定し、枠の右端 (C) までキャリヤを移動させます。
 - キャリヤを枠の右下端 (C) まで移動させたら、フレームキーを押します。キャリヤが自動的に枠の左上端 (A) まで移動し、枠のタイプを開始します。

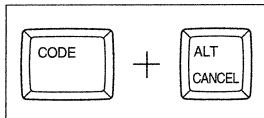
B フレーミングの枠指定の解除



1. 一度指定した中線（縦、横）を解除したい場合は、キャリア移動キーを押して解除したい中線指定位置までキャリアヤを移動させます。
 2. コレクションキーを押すと、その点を通る中線が解除されます。
- 注) キャリヤが枠の左上端④あるいは枠の下端⑤にあるときにコレクションキーを押すと、二重アンダーライン指定してあった場合に限り、一重アンダーライン指定に変更されます。それ以外の場合は無効となります。

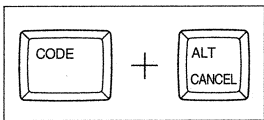
C フレーミングの中止

● 枠指定中のフレーミングの中止



フレーミングの枠指定中に、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。それまでの枠指定をすべて解除し、キャリアヤは左マージン位置まで移動します。

● 枠タイプ中のフレーミングの中止



枠のタイプ中に、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。枠のタイプを中止し、キャリアヤは左マージン位置まで移動します。

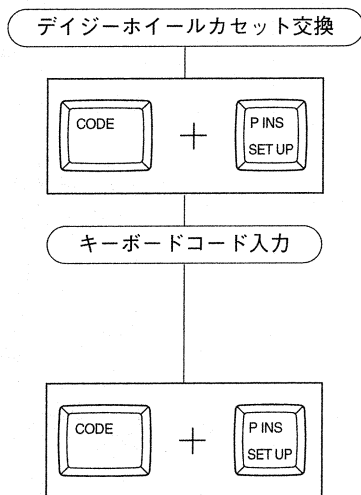
- 注) 1. フレーミングモード中は、左右マージンを越えてキャリアヤ移動することができます。
2. フレーミングモード中にキーボード切り替え、ピッチ切り替えはできません。
3. 中線の指定は外枠も含めて横線が30箇所、縦線が70箇所まで指定できます。それ以上指定しようとした場合は電子音が鳴り指定できません。

16. マルチリンガル

他の外国語の文章をタイプしようとした場合、タイプしたい外国語用のデジザイルカセットに入れ替えただけではタイプした文字と印字された文字が対応しませんので正確なタイピングができません。そのようなとき、マルチリンガルキーボード切り替え機能により、21種類のデジザイルカセットを使用することができ、使用するデジザイルカセットとキーボードを対応させ、正確なタイプ結果を得ることができます。

注) カナ英文コンビ仕様の場合も英文仕様と同じようにマルチリンガル機能を使用することができます。

A マルチリンガルキーボードの設定

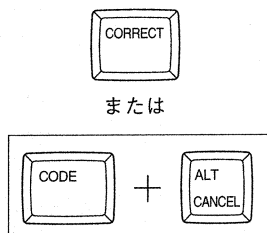


1. 使用する言語のデジザイルカセットをセットします。
2. コードキーを押したままセットアップキーを押し、セットアップモードにします。セットアップインジケータが高速点滅します。
3. 数字キー（0～9）を押して、設定したい言語の3桁のキーボードコードを入力します。<キーボードコード表>（42ページ）参照
例 オランダ語のキーボードに設定する場合
キーボードコード・・・032
4. コードキーを押したままセットアップキーを押します。
3. で入力されたキーボードコードに対応するキーボードに切り替えられセットアップモードを終了します。セットアップインジケータは消灯します。

- 注) 1. 初期設定はJapanese Englishに設定されています。
2. キーボードコードが入力されていない場合や、キーボードコード表にない数字が入力されている場合にコードキーを押したままセットアップキーを押すと、電子音が鳴りセットアップモードに入る前のキーボードにもどります。
 3. マルチリンガルキーボードに切り替えられるとアルトキーを押したとき、キーボードセレクトインジケータが点滅します。

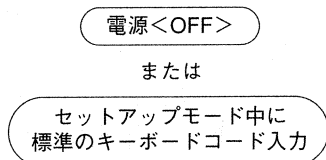
● セットアップモードの中止

キーボードコード入力中にコレクションキー、またはコードキーを押したままキャンセルキーを押すと、キーボードを切り替えずにセットアップモードを解除します。セットアップインジケータは消灯します。



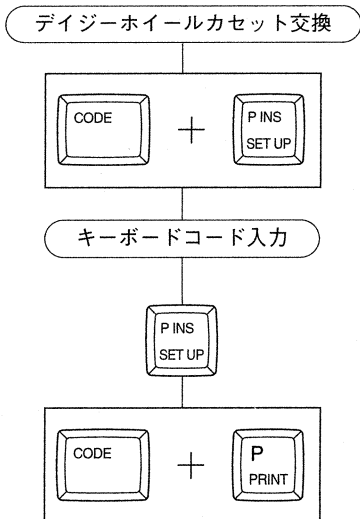
B マルチリンガルキーボードの解除

マルチリンガルキーボードを解除するには、電源を<OFF>にするか、セットアップモードにおいて、標準のデジザイルカセット（Japanese English）のキーボードコード(005)を入力します。



C マルチリンガルキー配列の印字

使用する言語のキー配列を印字することができます。



1. 使用する言語のデジホイールカセットをセットします。
2. コードキーを押したままセットアップキーを押し、セットアップモードにします。セットアップインジケータが高速点滅します。
3. 数字キー（0～9）を押して、印字したい言語の3桁のキーボードコードを入力します。＜キーボードコード表＞参照
4. ペーパーインサートキーを押して用紙を挿入します。
5. コードキーを押したままプリントキーを押します。入力されたキーボードコードに対応するキーボード上の文字配列を印字します。印字を終了すると、プリントキーを押す前の状態にもどります。

D キーボードコード表

言語	キーボードコード	デジホイールラベル	
基本英文	American English	002	A.ENG 02
ブラジル	Brazilian (Portuguese)	164	POR 64
カナダ	Canadian French	016	CAN 16
デンマーク	Danish	170	NOR/DAN 70
オランダ	Dutch	032	DUTCH 32
イギリス英文	English	014	ENG 14
フランス	French	020	FRENCH 20
ドイツ	German	008	GERMAN 08
ギリシャ	Greek	042	GREEK 42
アイスランド	Icelandic	074	ICE 74
イタリア	Italian	052	ITALIAN 52
日本英文	Japanese English	005	J.ENG 05
ラテン	Latin	053	LATIN 53
中南米スペイン	Latin American Spanish	027	L.SPA 27
ノルウェー	Norwegian	070	NOR/DAN 70
ポルトガル	Portuguese	064	POR 64
南アフリカ	South African	031	S.AFR 31
スペイン	Spanish	076	SPA-II 76
スウェーデン	Swedish	060	FIN/SWE 60
スイス	Swiss(German/French)	036	SWISS 36
トルコ	Turkish	029	TURKISH 29

E マルチリンガルキー配列

● 基本英文

° ±	1	@	#	\$	%	¢	&	*	()	-	=
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
	Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	¼ ½
	A	S	D	F	G	H	J	K	L	:	;
	Z	X	C	V	B	N	M	.	?	/	

(P HY)

● ブラジル

ª	1	²	£	\$	%	&	/	()	=	?	√
º	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
	Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	* +
	A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ç	~
	Z	X	C	V	B	N	M	.	;	-	

(P HY)

● カナダ

°	#	°	/	\$	%	*	&	()	-	+
±	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	=
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	1/2	1/4
A	S	D	F	G	H	J	K	L	:	;	'
Z	X	C	V	B	N	M	?	.	/	¢	é

(P HY)

● デンマーク

\$!	°	£	\$	%	&	/	()	=	?	1/4
±	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	+	1/2
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	1/2	1/4	
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Æ	Ø	'	
Z	X	C	V	B	N	M	?	.	/	¢	é	

(P HY)

● オランダ

f	°	£	\$	%	-	&	()	1	1/2	1/4
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	±	1/2
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	±	1/2
A	S	D	F	G	H	J	K	L	*	ij	:
Z	X	C	V	B	N	M	?	.	/	¢	é

(P HY)

● イギリス英文

+	*	"	/	@	£	-	&	()	?	1/4
=	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	±
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	\$	1/2
A	S	D	F	G	H	J	K	L	:	;	+
Z	X	C	V	B	N	M	?	.	/	¢	é

(P HY)

● フランス

1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	°	+
1/2	*	é	"	'	(-	è	ç	à)	1	=
A	Z	E	R	T	Y	U	I	O	P	-	Fr	\$
Q	S	D	F	G	H	J	K	L	M	%	ù	'
W	X	C	V	B	N	M	?	.	/	¢	é	'

(P HY)

● ドイツ

°	!	°	£	\$	%	&	/	()	=	?	1/4
±	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	β	1/2
Q	W	E	R	T	Z	U	I	O	P	U	*	1/2
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ö	Ä	'	1/2
Y	X	C	V	B	N	M	?	.	/	¢	é	'

(P HY)

● ギリシャ

"	C	S	D	R	G	U	J	F	L	V	/	-
%	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		±
Q	W	E	P	T	Y	U	I	O	Π	Ι	(1/2
A	Σ	Δ	Φ	Γ	H	Ξ	K	Λ	:	;	£	\$
Z	X	Ψ	Ω	B	N	M	?	.	/	¢	é	'

(P HY)

● アイスランド

;	!	°	°	-	%	&	/	()	=	Ö	-
+	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	±	1/2
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	Ð	Á	1/2
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Æ	'	1/2	1/2
Z	X	C	V	B	N	M	?	.	/	¢	é	'

(P HY)

● イタリア

\$!	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	+
*	£	é	"	'	(-	è	ç	à)	1	=
Q	Z	E	R	T	Y	U	I	O	P	=	1/2	1/4
A	S	D	F	G	H	J	K	L	M	%	ù	'
W	X	C	V	B	N	M	?	.	/	¢	é	'

(P HY)

● 日本英文

°	!	@	#	\$	%	¥	&	*	()	-	+
±	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	±	1/2
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	1/2	1/4	1/2
A	S	D	F	G	H	J	K	L	:	;	'	1/2
Z	X	C	V	B	N	M	?	.	/	¢	é	'

(P HY)

● ラテン

½	+	"	%	\$	£	?	/	()	-	-
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	=	*
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	&	°
A	S	D	F	G	H	J	K	L	N	:	'
Z	X	C	V	B	N	M	:	:	@	#	

(P HY)

● 中南米スペイン

¿	!	"	#	\$	%	*	&	8	()	+	-
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	=	°	á
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	&	°	á
A	S	D	F	G	H	J	K	L	N	:	:	
Z	X	C	V	B	N	M	:	:	?	/		

(P HY)

● ノルウェー

*	!	"	£	\$	%	&	/	()	=	?	.
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	+	'	
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	Å	.	
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ø	Æ	.	
Z	X	C	V	B	N	M	:	:	.	.	.	

(P HY)

● ポルトガル

-	*	+	=	"	()	/	%	&	£	°	á
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	\$.	
A	Z	E	R	T	Y	U	I	O	P	.	.	
Q	S	D	F	G	H	J	K	L	M	\$.	
W	X	C	V	B	N	C	!	?	.	.	.	

(P HY)

● 南アフリカ

°	+	"	£	@	%	&	/	()	=	?	.
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	+	'	
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	.	3	2
A	S	D	F	G	H	J	K	L	ñ	:	.	
Z	X	C	V	B	N	M	:	:	.	.	.	

(P HY)

● スペイン

°	+	"	/	()	!	!	¿	?	\$	+	-
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	\$.	
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	L	.	
A	S	D	F	G	H	J	K	L	N	Ç	.	
Z	X	C	V	B	N	M	:	:	%	.	.	

(P HY)

● スウェーデン

*	½	"	\$	\$	%	&	/	()	=	?	.
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	+	'	
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	Å	.	
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ö	Ä	.	
Z	X	C	V	B	N	M	:	:	.	.	.	

(P HY)

● スイス独文 (KBI)

+	"	*	ç	%	&	/	()	=	?	.	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	+	'	
Q	W	E	R	T	Z	U	I	O	P	è	.	
A	S	D	F	G	H	J	K	L	é	à	.	£
Y	X	C	V	B	N	M	:	:	.	.	.	

(P HY)

● スイス仏文 (KBI)

+	"	*	ç	%	&	/	()	=	?	.	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	+	'	
Q	W	E	R	T	Z	U	I	O	P	ü	.	
A	S	D	F	G	H	J	K	L	é	à	.	£
Y	X	C	V	B	N	M	:	:	.	.	.	

(P HY)

● トルコ

+	W	é	"	.	(/)	-	%	:	X	Q
=	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	.	
F	G	á	I	O	D	R	N	H	P	.	TL	
U	i	E	A	U	T	K	M	L	Y	.	\$	
J	Ö	V	C	Ç	Z	S	B	?	.	.	.	

(P HY)

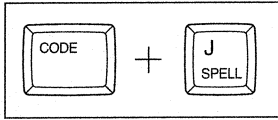
第4章 ワードスペルチェック機能

内蔵辞書によって、単語のスペルをチェックすることができます。

1. ワードスペルチェック <SPELL>

タイプした単語を、本機内蔵の固定辞書（約90,000語）と独自に登録できるユーザー辞書（7文字平均で約203単語）によって単語のスペルをチェックし、その結果を電子音で知らせます。

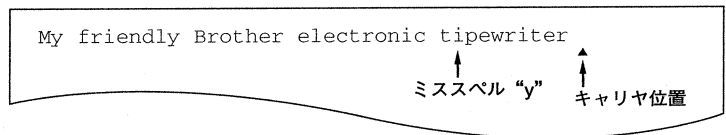
A ワードスペルチェックの設定



電源スイッチを<ON>にすると、ワードスペルチェックモードは<OFF>の状態です。コードキーを押したままワードスペルチェックキーを押すと、電子音が鳴りワードスペルチェックモードが<ON>に設定されます。

B ワードスペルチェックの実施

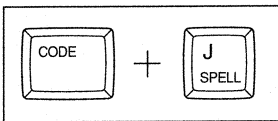
単語をタイプ中、区切りとなるキー・ファンクションキーを押したとき、その単語を辞書部（固定辞書・ユーザー辞書）と照合します。その単語が辞書部にないときは、ミススペルとして電子音が鳴ります。



“typewriter”の次にスペースをタイプすると、電子音が鳴りミススペルを知らせてくれます。

- ・修正する場合——<オートコレクション>（32ページ）参照
- ・修正しない場合——そのままタイプします。

C ワードスペルチェックの解除

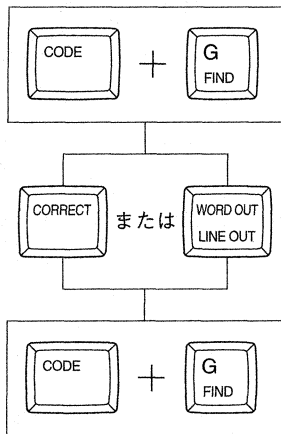


ワードスペルチェックを解除するには、もう一度コードキーを押したままワードスペルチェックキーを押します。ワードスペルチェックモードが解除されます。

- 注) 1. ワードスペルチェックは米語で行います。例 COLOR (米) COLOUR (英)
2. キーボードを<Ⅱ>に設定したときもワードスペルチェックをすることができます。しかし、デッドキーは無視します。キーボードを<Ⅲ>に設定したときはワードスペルチェックはできません。

2. ファインド <FIND>

タイプ中の行であれば、ワードスペルチェックモードに関係なく、タイプしたあとでミスペルの単語を捜し出すことができます。



1. コードキーを押したままファインドキーを押すと、行の先頭からチェックします。ミスペルがあれば、その単語の最後の文字の次の位置にキャリヤが移動します。

注) ミスペルの単語がないときは、キャリヤは行末まで移動します。

2. コレクションキーまたはワードアウトキーなどを押して、単語を修正します。
<コレクションキー> (32ページ) 参照

3. もう一度、コードキーを押したままファインドキーを押すと、キャリヤ以後のミスペルの単語を捜します。修正した単語以外にミスペルがないときは、キャリヤは行末まで移動します。

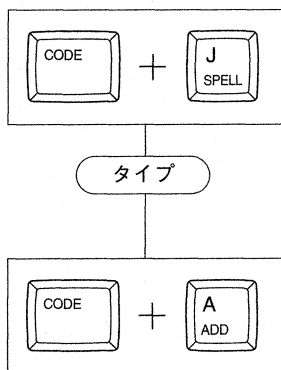
- 注) 1. 改行動作が行われない場合は、何度でもファインドは可能です。
2. ファインドは、ワードスペルチェックモードに関係なく行えます。

3. ユーザー辞書

ユーザー辞書は、固定辞書にない単語を登録して、独自の辞書として使うことができます。登録可能単語数は、約203単語 (1単語7文字平均) です。

A ユーザー辞書への登録

登録できる1単語の文字数は、2~32文字です。



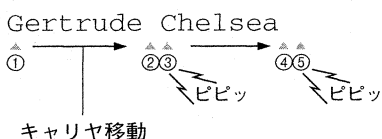
1. コードキーを押したままワードスペルチェックキーを押して、ワードスペルチェックモードにします。

注) ワードスペルチェックモードを<ON>にすると、電子音が鳴ります。

2. ユーザー辞書に登録したい単語をタイプします。単語の区切りとなるキー・ファンクションキーを押すと、電子音が鳴ります。<単語の区切りとなるキー・ファンクションキー> (46ページ) 参照

3. コードキーを押したままワードスペルアドキーを押します。電子音が鳴り、ユーザー辞書に単語が登録されます。

- 注) 1. 登録したい単語をタイプしたあと、必ず単語の区切りとなるキー・ファンクションキーを押して電子音を確認してください。最後にワードスペルチェックした単語を登録します。



③の位置で“Gertrude”をワードスペルチェックします。

①~②の間にキャリヤがあるときは登録できません。

③~④の間にキャリヤがあるときは、“Gertrude”が直前にワードスペルチェックした単語として登録できます。

⑤の位置で“Chelsea”をワードスペルチェックします。また⑤の位置から①にもどったときでも、Chelseaを最後にワードスペルチェックしているので“Chelsea”を登録します。

2. 登録可能文字数 (32文字) を越えた単語は登録できません。

●スペルの再チェックを利用した登録

前にもどって単語を新たに登録することができます。

32 Gertrude Street Chelsea

キャリアの位置①でバックスペースキーを押して②まで移動します。次にスペースバーを押して③の位置までキャリアを移動させると電子音が鳴ります。その後、“Gertrude”が登録できます。

●登録のチェック規則

1) 大文字・小文字は、そのまま登録できますが、チェックする単語は下表を参照してください。

ユーザー辞書に 登録する単語	チェックする単語							
	abcd	Abcd	ABCD	aBcD	abcd.	Abcd.	ABCD.	aBcD.
abcd	○	○	○	×	○	○	○	×
Abcd	×	○	○	×	○	○	○	×
ABCD	×	×	○	×	×	×	○	×
aBcD	×	×	×	○	×	×	×	○
abcd.	×	×	×	×	○	○	○	×
Abcd.	×	×	×	×	×	○	○	×
ABCD.	×	×	×	×	×	×	○	×
aBcD.	×	×	×	×	×	×	×	○

× : 電子音が鳴る
○ : 電子音が鳴らない

2) 文字・記号・数字を含んだ特殊な場合。

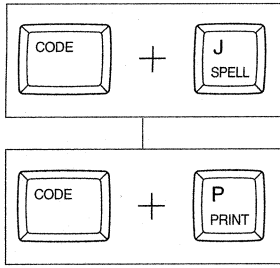
- 記号 アルファベットと同様、1単語として登録します。
例 NEW & NEXT NEW&NEXT を登録。
. アルファベットまたは、数字に囲まれていない部分の記号はすべて無視して登録します。
例 "CHINATSU" " " を無視して CHINATSU を登録。
 CHINATSU! ! を無視して CHINATSU を登録。
- 数字 アルファベットと同様、1単語として登録します。
例 NO.2 NO.2 を登録。
. アルファベットを1文字も含まず、数字・記号だけの単語は登録しません。
例 \$12.3 登録しない。
 1994 登録しない
- ハイフン 単語の区切りとみなされ、登録します。
例 EX:530 "5" をタイプした時点で EX を登録。
例 SUZU:KI ハイフンとリターンを無視して SUZUKI を登録。AUTOモードでも同様に登録。
- ピリオド 記号と同様に登録します。
. ピリオドが連続して2個タイプされたとき。
例 NAGOYA. 2個目の . を無視して NAGOYA を登録。

●ユーザー辞書の学習機能

- ユーザー辞書に新しく登録した単語は、ユーザー辞書の最後に登録します。また、ワードスペルチェックで使用すると、その単語はユーザー辞書の最後に移動して、登録順位が変わります。
- ユーザー辞書が登録可能文字数以上になったときは、ユーザー辞書の先頭の単語から順に消去して新しい単語を登録します。

B ユーザー辞書の打ち出し

ユーザー辞書の内容を打ち出し、確認することができます。



1. コードキーを押したままワードスペルチェックキーを押して、ワードスペルチェックモードにします。

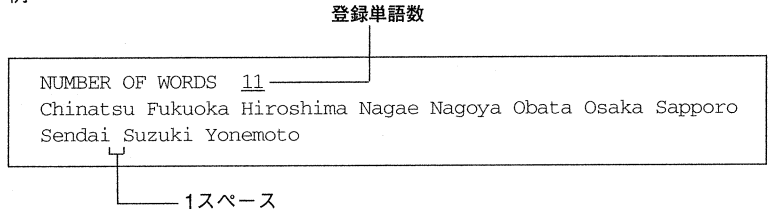
注) ワードスペルチェックモードを<ON>にすると、電子音が鳴ります。

2. コードキーを押したままプリントキーを押します。改行後、キャリヤは左マージンから打ち出しを開始します。登録している単語をすべて打ち出し終わると、電子音が鳴ります。

● 打ち出しのフォーマット

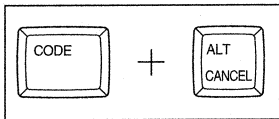
1. 左マージン10, 右マージン75, ピッチ 10, ラインスペース 1, 設定されているインパクトで打ち出します。
2. アルファベット順に打ち出し、単語間は1スペースあけます。
3. 右マージンにかかる単語は、改行して次行の左マージンから打ち出します。
4. 打ち出す単語がマージンより長いときは、左マージンから右マージンまで打ち出し、改行して残りの文字を次行の左マージンから打ち出します。

例



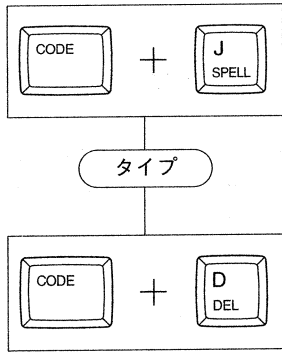
● 打ち出しの中止

コードキーを押したままキャンセルキーを押します。
打ち出しを中止し、キャリヤは改行して左マージンまで移動します。



C ユーザー辞書の消去

ユーザー辞書に登録した不要な単語を、消去することができます。



1. コードキーを押したままワードスペルチェックキーを押して、ワードスペルチェックモードにします。

注) ワードスペルチェックモードを<ON>にすると、電子音が鳴ります。

2. ユーザー辞書から消したい単語をタイプし、単語の区切りとなるキー・ファンクションキーを押して、単語を確定します。

3. コードキーを押したままワードスペルデリートキーを押します。電子音が鳴り、ユーザー辞書から単語が消去されます。

注) 1. 固定辞書を消去することはできません。

2. 消去する単語がユーザー辞書に登録されていないときは、エラーとなります。

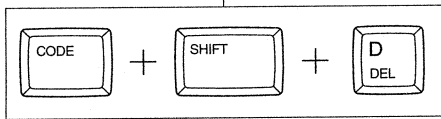
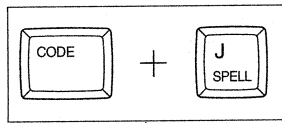
D ユーザー辞書の一斉消去

ユーザー辞書に登録したすべての単語を、消去することができます。

1. コードキーを押したままワードスペルチェックキーを押して、ワードスペルチェックモードにします。

注) ワードスペルチェックモードを<ON>にすると電子音が鳴ります。

2. コードキーとシフトキーを押したまま、ワードスペルデリートキーを押します。電子音が鳴り、ユーザー辞書に登録されている単語がすべて消去されます。



● スペリングプログラムについて

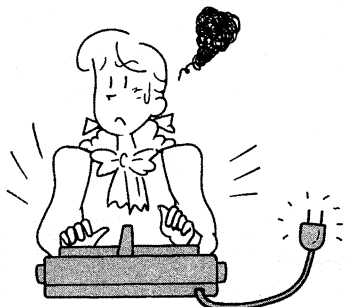
スペリングプログラムは米国マサチューセッツ州ボストンのホートン・ミフリン社が所有・開発したものであり、著作権はホートン・ミフリン社に帰属します。このプログラムあるいはアルゴリズムの複製または分解は禁じられています。なお、このスペリングプログラムは“The American Heritage Dictionary”に基づいて開発されたものです。

こんなときは・・・？

製品については万全を期しておりますが、もし何か本体に異常があるときは、下記の項目についてチェックしてください。それでもなお、正常に作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは・・・？

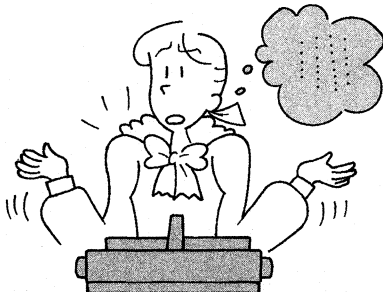
- 電源スイッチを<ON>にしても作動しないときは・・・



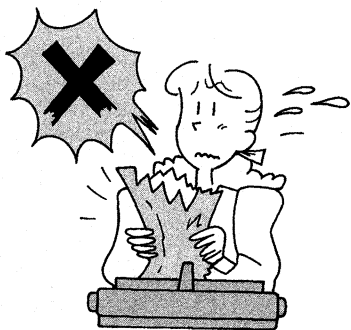
- タイプしても印字しなかったり、文字が乱れているときは・・・



- コレクション機能がはたらかないときは・・・



- プラテンに紙がからまったりラベルが張りついてしまったときは・・・



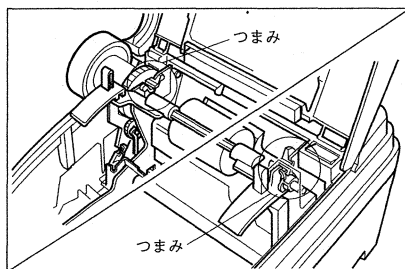
こうしてください・・・！

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。<電源コード・電源スイッチ> (2ページ) 参照
2. トップカバーがしっかりと閉めてあるか確認してください。<トップカバー> (3ページ) 参照

1. デイジーホイールカセットが正しく挿入されているか確認してください。<デイジーホイールカセット> (7ページ) 参照
2. カセットリボンがなくなっていないか？ 消耗しているときは、新しいリボンを取り付けてください。<カセットリボン> (8ページ) 参照
3. カセットリボンが正しく取り付けられているか確認してください。<カセットリボン> (8ページ) 参照
4. キーボードが正しい位置に設定されているか確認してください。<キーボードセレクトキー> (11ページ) 参照

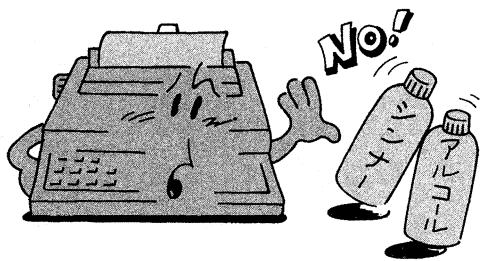
1. コレクションテープがなくなっていないか？ 消耗しているときは新しいテープを取り付けてください。<コレクションテープ> (9ページ) 参照
2. コレクションテープが正しく取り付けられているか確認してください。<コレクションテープ> (9ページ) 参照
3. 使用中のコレクションテープとカセットリボンが適合しているかどうか確認してください。<カセットリボン> (8ページ)、<コレクションテープ> (9ページ) 参照

下図に示すつまみを持ち上げ、プラテンをはずして処理してください。

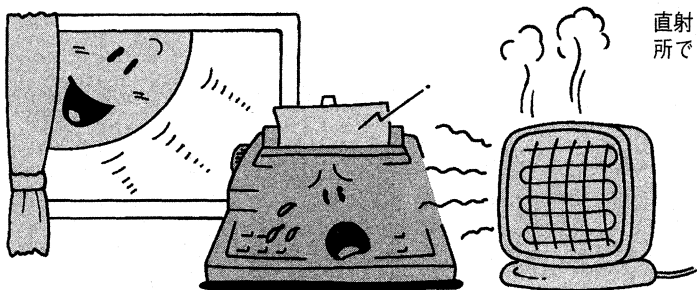


タイプライターの手入れとご注意

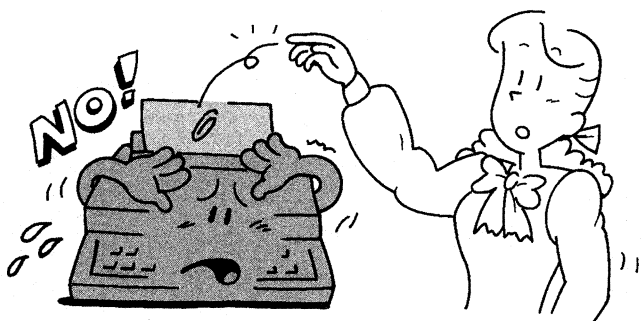
本機をいつも快適に、また長くご使用いただくために次の点にご注意ください。



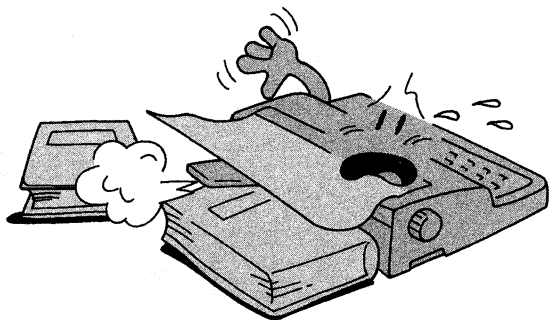
カバー、キーなどの掃除にアルコールやシンナー、その他有機溶剤、化学ぞうきんなどを使用しないでください。使用すると本体が変色、変形を起こす場合があります。ゴミ・ホコリはかるく程度にしてください。



直射日光の当たる場所、高温を発する物の近くや振動の大きな場所では使用しないでください。



クリップや他の金属物を、本機の中に落とさないでください。故障の原因になる場合があります。



本機の底や背のスリットは空気の入出口のため、物などを置かないでください。本機は水平に置いてください。

仕様

印字方法	カセット式デイジーホイール (96文字) ・ 英文仕様 ブルースラム10 (標準装備) ・ カナ英文コンビ仕様 カナ英文10 (標準装備)
印字スピード	20文字/秒
印字ピッチ	10 (1行内の最大印字数120文字) 12 (1行内の最大印字数144文字) 15 (1行内の最大印字数180文字) PS (1行内の最大印字数238文字)
最大用紙幅	381.0mm (15.5インチ)
最大印字幅	304.8mm (12.0インチ)
コピー能力	オリジナル+コピー4枚
ラインスペース	1行、1 1/2行、2行
カセットリボン	コレクタブルカーボンリボン (標準装備) マルチユースカーボンリボン ワнтаイムカーボンリボン ナイロンリボン
コレクションテープ	リフトオフコレクションテープ (標準装備) カバーラップコレクションテープ
コレクションメモリー	1行
バックアップ電池	約5年
キーボードメモリー	50文字
キーボード	46文字キー
消費電力	52W
寸法	500mm (幅) × 428mm (奥行) × 150mm (高さ)
重量	9kg

仕様は都合により変更する場合があります。

消耗品

消耗品は当社の製品をお使いください。当社の製品以外をご使用になり故障の原因となった場合は、保証できない場合があります。

	品 名	部品コード	リボン番号
カセットリボン	コレクタブルカーボンリボン (黒) (標準装備)	575484010	7020
	コレクタブルカーボンリボン (緑)	576876001	7023
	コレクタブルカーボンリボン (茶)	576877001	7024
	コレクタブルカーボンリボン (青)	576878001	7025
	コレクタブルカーボンリボン (赤)	576879001	7027
	マルチユースカーボンリボン (黒)	575488010	7040
	ワнтаイムカーボンリボン (黒)	575492010	7022
	ナイロンリボン (黒)	575496010	8020
コレクションテープ	リフトオフコレクションテープ (標準装備)	542792001	
	カバーラップコレクションテープ	542803001	
デイジーホイールカセット			

保証書について・・・

この製品には保証書がついています。保証書は販売店で発行しますから、お買い上げの販売店から必ずお受け取りいただき、大切に保存してください。

索引

あ	インターナショナルキーボード	12
	インデックスキー<INDEX>	21
	インデントクリアキー	29
	インパクトセレクトキー<IMPACT>	11
	エクストラ文字キー	19
	エクスパンドキー<EXPAND>	23
	エクスプレスバックスペースキー<EXPR>	17, 37
	エンドラインセットキー<E SET>	5
	オートアンダーラインキー<UNDLN>	24
	オートキャリヤリターンキー<AUTO>	16
	オートコレクション	32

か	カーソルライトキー	36
	カーソルレフトキー	36
	重ね文字	20
	カセットリボン	8
	取りはずし方	8
	取り付け方	8
	キーボードセレクトキー<KEYBOARD>	11
	機器構成(名称とはたらき)	1
	キャプスキー<CAPS>	18
	キャリヤ移動キー	36
	キャリヤリターン<RETURN>	15
	キャンセルキー	28, 31, 40, 41, 49
	コピーコントロールレバー	6
	コレクション<CORRECT>	32
	コレクションテープ	9
	取りはずし方	9
	取り付け方	9
	こんなときは・・・?	51

さ	索引	54
	サブスクリプト<INDEX>	22
	シフトキー<SHIFT>	18
	シフトロックキー<SHIFT LOCK>	18
	仕様	53
	消耗品	53
	シンボルキーボード	12
	スーパーサブスクリプト<R INDEX>	22
	スタートラインセットキー<S SET>	5
	スペースバー	36
	セットアップキー	41
	センタリング<CTR>	30
	マージン間のセンタリングの設定	30
	タブ間のセンタリングの設定	30
	任意の位置でのセンタリングの設定	31
	センタリングの解除	31

た	タイプライターの手入れとご注意	52
	タブ	25
	タブの設定<T SET>	25
	タブの実施<TAB>	25
	タブの解除<T CLR>	25
	タブのオールクリア	25
	タブの自動設定	25
	ディジーホイールカセット	7
	取りはずし方	7
	取り付け方	7
	デシマルタブ	26
	デシマルタブの設定<DT SET>	26
	デシマルタブの実施<TAB>	26
	デシマルタブの解除<T CLR>	27
	デッドキー	19
	電源コード	2
	電源スイッチ	2
	トップカバー	3

は	パーマネントスペースバー	17, 36
	パーマネントハイフンキー	17
	バックアップ機能	2
	バックスペースキー<BKSP>	17, 36
	バックスペース1キー<BS 1>	17, 37
	パラグラフインデントキー<P IND>	29
	ピッチセレクトキー<PITCH>	13
	ファインド<FIND>	47
	ブラテン	1
	ブラテンノブ	1, 4
	フレーミング<FRAME>	39
	フレーミングの枠指定	39
	フレーミングの枠指定の解除	40
	フレーミングの中止	40
	ページエンド	6
	エンドラインを越えてタイプしたい場合	6
	エンドラインの解除	6
	ペーパーインサートキー	4
	ペーパーエッジガイドマーク	1
	ペーパーエンドインジケータ	1
	ペーパーガイド	1, 4
	ペーパーサポーター	1
	ペーパーベイル	1, 4
	ペーパーベイルレバー	1, 4
	ペーパーリリースレバー	1, 4
	ペーパーメーターの使い方	34
	ペーパーレスト	4
	反射防止板	1
	ブラテン	1
	防音カバー	1
	ボールドキー<BOLD>	23
	ホットゾーン	16
	ホットゾーンの変更	16

ま	マージン	14
	左マージンの設定<L MAR>	14
	右マージンの設定<R MAR>	15
	マージンの解除	15
	マージンスケール	3
	マイクロインデックスキー<MICRO>	21, 37
	マイクロスペースキー	36
	マイクロバックスペースキー	37
	マイクロリバーズインデックスキー<MICRO>	21, 37
	マニュアルコレクション	33
	マルチリンガル	41
	マルチリンガルキーボードの設定	41
	マルチリンガルキーボードの解除	41
	マルチリンガルキー配列の印字	42
	キーボードコード表	42
	マルチリンガルキー配列	42

や	ユーザー辞書	47
	ユーザー辞書への登録	47
	ユーザー辞書の打ち出し	49
	ユーザー辞書の消去	50
	ユーザー辞書の一斉消去	50
	用紙の挿入	4
	自動挿入<P INS>	4
	手動挿入	4

ら	ライトマージンフラッシュキー<RMF>	28
	ラインインデントキー<L IND>	27
	ラインアウトキー<LINE OUT>	36
	ラインスペースセレクトキー<LINE>	12
	ラインフォーム<FORMAT>	38
	ラインフォームの登録	38

ラインフォームの呼び出し	38
ラインフォームのクリア	38
リセットの方法	10
リターンキー	15, 37
リバースインデックスキー<R INDEX>	21, 37
リロケートキー	32, 35, 37

わ ワードアウトキー<WORD OUT>	35
ワードスペルチェック<SPELL>	45
ワードスペルチェックの設定	45
ワードスペルチェックの実施	45
ワードスペルチェックの解除	45
スペルの再チェック	46
ワードスペルチェックの規則	46

レイアウト例

センタリング (30ページ) マージン間の中央に印字。

ボールド (23ページ) 太文字を印字。

ライトマージンフラッシュ (28ページ) 右マージンで右寄せ印字。

右マージン (15ページ) 用紙に印字する右端。

オートアンダーライン (WORD) (24ページ) 単語だけに下線を印字。

ホットゾーン (16ページ) 右マージンから手前6文字分。

ピッチ (13ページ) タイプピッチの変更。

タブ間のセンタリング (30ページ) タブ間の中央に印字。

キャプス (18ページ) アルファベットの太文字と数字を同時にタイプ。

デシマルタブ (26ページ) 小数点そろえで印字。

左マージン (14ページ) 用紙に印字する左端。

ラインインデント (27ページ) 5文字分のスペースをあける。

パラグラフインデント (29ページ) 仮の左マージンを設定。

ラインスペース (12ページ) 行送りの変更。

タブ (25ページ) 文章中、頭そろえで印字。

フレーミング (39ページ) 作表。

サブスクリプト (22ページ) 下つき文字を印字。

オートアンダーライン(CONT) (24ページ) 文章全体に下線を印字。

Brother Electronic Typewriter

June 21, 1994

17, Ashley Drive,
Maidstone,
Kent.

Dear Purchaser,

This letter was typed on a **Brother EX-530 electronic typewriter** to show you just some of the many outstanding feats this electronic typewriter can perform.

In fact, you have seen some of these features already in this letter. **Centering** has placed the title right in the center of the left and right margins, and **Bold** typing has made the title and the features we are writing about stand out. You will also have noticed that the date has been aligned with the right margin. That was done with the **Right Margin Flush** function. The first paragraph of this letter was indented on the first line with the line with the **Line Indent** key, while this paragraph itself has been automatically indented with the **Paragraph Indent** function.

And there's a lot of more to come:
Type with a different **Line Spacing** (in this case 1 1/2)
or type in a different typing **Pitch** (This one case called **Elite**).

Often need to type columns of information and figures? Then you'll find the **Tab** and **Decimal Tab** keys very handy indeed!

Date	NO. of O ₂ Cylinders	Unit Price	Total Cost	Remarks
28/08/94	65	9.84	639.60	*****
30/09/94	104	34.97	3636.88	NEW PRICE, 1994
TOTAL	169	44.81	4276.48	

Date Due: 28/10/94

EX-530 provides you with many more easy-to-use features that will make your time while typing at the EX-530 keyboard a really enjoyable one.

Best wishes from your friendly, local Brother dealer.

●アフターサービスについて

- ・ お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- ・ 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（詳しくは保証書をご覧ください。）それ以降の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- ・ アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記のブラザー販売（株）〈各営業部〉へお問い合わせください。

各営業部

札幌営業部	〒060	札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL : (011)222-7788
仙台営業部	〒980	仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL : (022)266-5997
東京営業部	〒104	東京都中央区京橋3-3-8	TEL : (03)3274-6911
名古屋営業部	〒467	名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL : (052)824-3196
大阪営業部	〒542	大阪市中央区心斎橋筋1-2-19	TEL : (06)252-5350
広島営業部	〒730	広島市中区胡町4-28	TEL : (082)240-3773
福岡営業部	〒812	福岡市博多区博多駅前2-20-1	TEL : (092)481-1560
鹿児島オフィス	〒892	鹿児島市大黒町1-3	TEL : (0992)25-3413
沖縄出張所	〒900	那覇市泊3-1-2	TEL : (098) 868-4511

◎ ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の〈各営業部〉へご連絡ください。

※ 上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。